

・景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・新しい駅舎が6月に完成して、オープンする予定であり、商店街ではイベントを計画している。このため、商店街への来客数の増加を期待している。
		商店街（代表者）	・空き店舗が少しづつ埋まってきているなど、釧路では駅周辺の経済状況が改善されつつあり、傾向としては良くなっている。
		百貨店（売場主任）	・春物については正規価格で順調に売上を伸ばしており、来月の値下げの時期で消化できると思われるため、5月以降の初夏物や夏物についても、正規価格で売ることができると予測している。
		家電量販店（店長）	・夏季商戦では、プラズマテレビや液晶テレビ、DVDレコーダーなどのAVデジタル家電が売れるため、パソコンの不調をカバーできる見通しである。
		乗用車販売店（役員）	・現在、販売量が前年と比べて伸びている状況であり、今後悪くなる要素が出るとは考えにくい。
		観光型ホテル（スタッフ）	・グリーンシーズンを迎えること、また、イラク情勢の影響で、修学旅行など海外旅行を予定していた人が、国内旅行に切り替えることが予想され、それらの旅行者の相当数が、北海道に流れてくると予想している。
		旅行代理店（従業員）	・イラク情勢の早期解決を期待している。
		通信会社（企画担当）	・新商品が目白押しで、販売数が引き上げられると予想している。
		住宅販売会社（従業員）	・相続税、贈与税の緩和等、税制の改革が住宅業界には、相当良い影響を与えるのではないかと期待している。
変わらない	変わらない	商店街（代表者）	・客は低価格商品を支持しており、今後も単価の増加が期待できない。
		商店街（代表者）	・札幌駅の大規模複合商業施設のオープンに伴う新しい商圏の動きは一段落すると思われるが、客足がどのように動くか、まだ予想が立たない状況である。
		一般小売店〔土産〕（店員）	・ゴールデンウィークに向けて予想しているが、ここ1、2年、ゴールデンウィーク期間中は、航空運賃が高いということで、旅行者が増えない状態である。逆に、ゴールデンウィーク前後の方が、特割運賃が適用になるため、旅行者の増加を見込めるのではないかと考えている。
		スーパー（店長）	・客は食料品の購入さえも慎重で、無駄な物は極力買わないという状況から判断して、この先の期待感はかなり薄いと思われる。
		スーパー（企画担当）	・札幌駅の大規模複合商業施設のオープン後も大きな消費環境の変化がみられず、期待していたほど、消費のプラス材料は見当たらない状況である。また、足元の傾向として、客一人当たりの買上点数が減少してきており、客の購買行動は慎重の度合いを強めているように思われる。
		衣料品専門店（店長）	・客の話からは、2、3か月後に景気が回復するというような感じは受けず、逆に将来に対する不安を感じているようである。
		家電量販店（経営者）	・客は先行き不安を拭えないようであり、改善がみられない状況である。こうした状況がしばらく続くと思われる。
		家電量販店（地区統括部）	・イラク情勢もあり、消費者マインドが回復してこない状況であり、客の様子見が多いように思われる。
		一般レストラン（スタッフ）	・前年の売上を維持することが難しい状況が、ここ1年以上続いているため、こうした傾向が、今後も続くと思われる。
		観光名所（職員）	・イラク情勢が終結しても景気が良くなるとは思えない。
美容室（経営者）	・客の生活パターンが固定化しているようで、急に良くなったり、悪くなったりするような感じが見受けられない。		
やや悪くなる	百貨店（売場主任）	・イラク情勢の影響で、消費が低迷すると思う。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（販売促進担当）	・札幌駅の大型複合商業施設がオープンしたが、全体では市場のパイは変わらず、パイの食い合いという状態となっている。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数や購買点数などは変わらないが、価格の安い商品にシフトしている。この傾向は年明けから続いている傾向であり、これからも続くことが考えられる。
		コンビニ（エリア担当）	・公共工事の減少が確実であり、この影響により男性客が減少すると思われる。
		コンビニ（エリア担当）	・公共工事の減少が、大きな影響を与えられる。
		乗用車販売店（従業員）	・乗用車の買替えサイクルが、更に延びてきているように思われ、まだ乗れる車はなかなか買替えに結びつかないようになっている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・イラク情勢の長期化による原油の高騰が予想される。
		高級レストラン（経営者）	・3月は歓送迎会シーズンなので、前年並みの売上を維持しているが、3か月後にはイラク情勢の影響が出てくると思われる。また、依然としてデフレ経済が続き、不況は免れない状況である。特に飲食業界は苦戦するだろうと考えられる。
		高級レストラン（スタッフ）	・長引くと思われるイラク情勢の影響が客足を鈍らせ、消費の低下が現れる。
		観光型ホテル（経営者）	・イラク情勢による社会世相への影響が懸念される。また、予約状況も厳しく、これに医療費の負担増と発泡酒の増税問題が絡み、悪化の度合いが増すのではと思われる。
		タクシー運転手	・札幌駅の大型複合商業施設の開業効果がいつまで続くか分からないが、規制緩和により個人タクシーが一挙に約130台増えるとともに、法人タクシー会社も増車を行っており、札幌市内のタクシーの台数が増えているため、競争が激しくなることが予想される。
		タクシー運転手	・イラク情勢の影響により石油価格が上昇し、それに伴いLPガスの価格も上昇することが予想され、コスト高につながる。また、タクシー台数も増加するため、現状よりも売上は減少すると思われる。
		観光名所（役員）	・ロープウェイの予約状況から判断して、やや悪くなると思われる。
		美容室（経営者）	・今までは国内の政治、経済により、不況に陥ったが、現在は、イラク情勢、石油問題、北朝鮮問題等の問題が解決し、世界情勢が安定しない限り、株価を含めて景気回復は良くなるのではないかと思う。
		住宅販売会社（従業員）	・客足の悪さは、全て経済不安の影響であるという傾向が、非常に強くなっている。そのため、これから数か月で、経済回復は考えられず、現状維持がやっとであると思う。
	悪くなる	スーパー（店長）	・最近の株安、失業率の増加、大手銀行の経営悪化にともなう連鎖倒産の懸念など、将来に対する生活不安が増大する傾向にあり、消費支出は減少傾向になると思われる。また、札幌の特殊与件として札幌駅の大型複合商業施設の開業による既存小売店への影響も想定される。
		コンビニ（エリア担当）	・管内の高校生就職内定率が非常に低下しており、管内の地方公共団体でも給与のベースアップが行われず、更には人員削減が行われているので、先行きに対して不安感が出ていると思う。
		住関連専門店（従業員）	・イラク情勢による景気の悪化は止められないと思う。
		一般レストラン（スタッフ）	・イラク情勢の影響で消費者のマインドが冷え込む。
		スナック（経営者）	・イラク情勢の影響がかなり出てくると思う。
		旅行代理店（従業員）	・イラク情勢の本格的な反動は2～3か月後にくると予想される。
		旅行代理店（従業員）	・イラク情勢が落ち着いた限り、景気回復は見込めない。
		旅行代理店（従業員）	・イラク情勢が短期で解決しても、旅行需要は急速には回復しない。
		設計事務所（所長）	・先行き不安感がなくなる限り、長期ローンを組むことへの不安から、住宅や小売店の動きは鈍いままである。動きがみられても極端な低予算のなかでの仕事の取り合いとなることが予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	司法書士	・4月以降に税制改正があるため、土地取引や建物の建築着工が増加する可能性があり、その影響でやや上向きになることが期待される。
	変わらない	食料品製造業（社員）	・イラク情勢による原油価格の高騰および戦後復興費用の負担など、日本の抱えている状況には支出増の気運が大きい。国債発行、または補正予算など国際的見知から歳出増による増税問題も出てくる可能性を秘めている。総じて、リーダーシップの不足による国内経済の混乱という様相もあり、景気浮揚の気運になく、現状維持が精一杯である。
		食料品製造業（団体役員）	・季節要因による消費の増加は期待できるものの、市場のバイは変わらないため、景気動向に大きな変化はない。また、株価や不良債権処理の問題が改善されないため、中小企業の設備投資、雇用環境の見通しに明るさがない。
		家具製造業（経営者）	・イラク情勢という外的要因が、日本経済、更には家具業界にも影響を与えらると思われる。
		金属製品製造業（統括）	・季節的には住宅建設工事も動きだすと思われるが、現在の景気動向から住宅需要が大きく拡大していくとは予想しにくい。
		輸送業（営業担当）	・消費動向が良くなる見通しがないことから、現状より上向くとは予想できない。
		通信業（営業担当）	・3か月という短期で回復するような要因が見当たらず、現状維持が精一杯という感じである。
		通信業（営業担当）	・今月は若干上向きの気配があったが、急激な変化はないと考えている。
		金融業（企画担当）	・季節要因もあって建設業などではマインドは改善されるが、札幌駅の大型複合商業施設の開業により、地方都市の消費停滞が予想される。
		広告代理店（従業員）	・これから観光シーズンであるが、函館には札幌の大型複合商業施設のオープンほど、インパクトのある話題がない。また、8月には大手百貨店の閉店もあるため、逆に少し落ち込む可能性もある。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・今後も設備投資の引き合いが増えない。
	その他企業〔コンベンション担当〕（従業員）	・婚礼の取り合いで過当競争になっており、価格が下がっている。このことが売上減少に大きな影響を与えており、今後も厳しい状態が続くと思われる。	
	やや悪くなる	輸送業（経営者）	・デフレ状況やイラク情勢による燃料の高騰が、経済に相当影響を与え、悪化させるのではないかとと思われる。
輸送業（支店長）		・イラク情勢の影響等による原油の値上がりは企業収益にボディーブローのように効いてきている。現実には、直近では陸運業界においてガソリン、軽油の値上がりが、収益圧迫という形になって現れてきている。	
その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）		・イラク情勢による影響が出てくると思う。	
その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）		・車両業界では排ガス規制、速度規制等があるため、末端の業者はますます厳しくなる。建設業界も同じであり、社会の根幹の業種はまだ厳しい状況が続くものと思われる。	
その他非製造業〔機械卸売〕（従業員）		・鉄骨加工業の中堅、大手はそこそこの仕事量は確保しているものの、鋼材、副資材が値上がりしており、なかなか単価アップを認めてもらえない状況である。	
悪くなる	食料品製造業（経営者）	・イラク情勢の影響による景気後退不安から、消費マインドの冷え込みが予想され、商品の販売量が減ると予想される。	
	その他サービス業〔システムハウス〕（経営者）	・イラク情勢、北朝鮮問題、ドル安、株安、大手銀行の赤字決算など、不景気に追い打ちをかけるような要因ばかりが目白押しである。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・札幌駅の大型複合商業施設の求人が落ち着いているにも関わらず、求人件数は増加していることから、サービス業で忙しくなり始めているような感じがする。
	職業安定所（職員）	・今夏に、市内の空き店舗跡に大型スーパーが入居する商業施設の進出が2件予定されており、雇用需要が見込まれる。	
変わらない	人材派遣会社（社員）	・短期的な求人が多くなっているため、全体としては変わらない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		求人情報誌製作会社（編集者）	・求人件数は、建設業を除いた業種のほぼ全てで対前年比を上回っているが、今後これといって求人が活発化する要素が見当たらない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・イラク情勢が早期に終結、北朝鮮問題が解決し世情が安定するまで景気はこの状態が続くのではないかと思う。
		職業安定所（職員）	・パートの求人が増加傾向にあるものの、有効求人倍率は依然として低い水準で推移している。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・常用雇用者の採用枠の大幅な減少により、パートやアルバイトなどの臨時・期間雇用者の増加につながっている。また、相対的に報酬額が下がり、可処分所得も減少することが懸念される。
	悪くなる	職業安定所（職員）	・大手百貨店の閉鎖を控え、離職者の増加が見込まれる。

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	一般小売店〔カメラ〕（店長）	・販売量と来客数が伸びており、当業界はこれからシーズンに入るため、今以上の伸びを示す。 ・新製品なども多数出てくるため、販売量も更に伸びる。
		衣料品専門店（店長）	・以前、量販店でのスーツ購入に流れた客が戻ってきており、それに加え、デパートで購入していた客層の流入も見込まれるため、良くなる。
		衣料品専門店（店長）	・フレッシュマン需要が苦戦している反面、ビジネス層の春物需要の立ち上がりが高く、来月以降に本格的な立ち上がる兆しが出ている。
		スナック（経営者）	・世界中のビックニュースは沢山あるが、その割には来店している。またリピーターも少し増えている。
		観光型ホテル（経営者）	・5月以降の問い合わせは順調である。 ・イラク情勢のためか、高級旅館への新婚客の問い合わせが毎日発生している。
		観光名所（職員）	・現在、県内では河川観光業者が軒並み休業や倒産しており、他社を利用して来た客が当社に流れてくる可能性が高くなっている。
		競艇場（職員）	・ナイターレースの開催などで、若干ながらも来客数の増加が期待できる。
	変わらない	商店街（代表者）	・郊外に大型量販店とカテゴリーキラーが大挙して出現している。毎年のようにこうして中心部商店街の一般的な小売店の百軒分とか二百軒分の施設ができるため、中心部商店街の売上が伸びるわけがない。これは景気というよりも構造的な問題である。
		百貨店（売場主任）	・プライダルフットなどの大口需要が少なくなっている。ただ仏事対応だけが単価上昇の期待が持てる。 ・予定している特売会では、シビアな売上が予想している。
		百貨店（企画担当）	・イラク情勢などの与件はあるが、現状ではまったく予想がつかない状況であり、変わらない。
		百貨店（広報担当）	・ヤングからミッシー、ミセスに関しては購買意欲が感じられるものの、シニア、シルバー層の購買意欲を喚起できないでいる。 ・国内外の不安要因に加え、競合店のリニューアルなど読みにくい状況にある。
		百貨店（売場担当）	・これから催事やイベントが目白押しで、その分のシャワー効果はあるが、単価が低くそれほど変わらない。
		スーパー（経営者）	・今後、売価をかなりの商品で切り下げようと考えている。これにより来客数、客単価はキープできると思うが、利益をどれだけカバーできるかを考えると、どちらとも言えない状況である。
スーパー（経営者）		・今のような厳しい状況がこのまま続くが、場合によってはもっと悪くなる。 ・今の状況では、株価が上昇する見込みもなく、賃金は全体的には同じか低下する人が多く、イラク情勢の推移によっても、消費者心理に与える影響は大きい。	
	スーパー（店長）	・買上点数や来客数の動きは変わらないが、一点単価の下落が続く、売上、利益共に圧迫されている。 ・タイムサービスなどのバーゲンハンターが多く、客単価も上昇の見込みは無い。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・イラク情勢の景気への影響が懸念される。原油価格の上昇が最も大きな不安材料であり、家計支出がより一層節約指向になる。
		衣料品専門店（経営者）	・イラク情勢の早期終結は望めず、統一地方選挙が始まり、買い控えが目立つ。
		乗用車販売店（経営者）	・イラク情勢が早く解決し、ガソリンなどの値上げ分が元の価格に戻れば、社会の安定と共に期待ができる。
		その他専門店〔家電〕（経営者）	・こういった状況は、以前からずっと長く続いており、今後もまったく良くならないといっても過言ではない。誰もが将来に対して悲観的に考えており、消費意欲が湧いてこないということである。
		高級レストラン（支配人）	・宿泊の予約状況は、前年比90%くらいである。 ・宴会予約は、4、5月はほぼ前年並みの予約状況であるが、6月は落ち込んでいる。 ・レストランの予約は前年とほぼ同じ水準である。
		一般レストラン（経営者）	・競合他社も販売価格を低く設定しており、来客の分散化が目立ってきている。
		観光型旅館（経営者）	・来月の出足が悪いので、この部分の仕上がりがどうなるか懸念される。 ・長期化しそうなイラク情勢の影響がまだ見えない状況である。かつては蓋を開けるまで分からないと言っていたが、今は蓋を閉めるまで分からない。
		観光型旅館（経営者）	・4月は統一地方選挙があり、一時的な落ち込みが予想される。 ・5～6月の予約状況は、平日は0。ゴールデンウィークはかなり予約が入っており、休前日なども予約が入ってきている。5月以降は、前年並み程度である。 ・海外旅行自粛のムードが出ているようだが、当館の来客動向には何の影響もない。米国テロの経験では、プラスの影響はなく、逆に沈んだ気分が広がり、旅行マインドが冷える。
		都市型ホテル（スタッフ）	・11月以降、前年実績を上回る月が増えており、ホテル全体としてはいいムードであるが、4月は県議選と市議選があるため、客の手控えを感じる。しかし、5月は、予約状況が良く、全体的には良い基調で推移する。 ・民間よりも官公庁の需要が依然として多いというのが実態で、むしろその傾向は強まっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新年度は、医療費負担の増加など家計を圧迫する要素が多く、賃金よりも雇用が優先され、ベースアップも望めず、マインド的にはいつもと変わらない。
		通信会社（経営者）	・日本経済がデフレ状態にある中、イラク情勢により、デフレの中でもガソリンの値上がりなどが目立っている。こういった好ましくない状態が続き、将来の景気に悪い影響を与える。
		遊園地（経営者）	・ライバル施設との共同キャンペーンの展開など、前向きな施策で下支えを図る。 ・団体客については、旅行代理店からのコミッション要請などがあり、厳しくなることが予想される。
		住宅販売会社（経営者）	・低コスト住宅は動いているが、ここに来て高品質を求める動きが出てきており、二極化が見られるようになっている。また贈与税、ローン減税などの効果で、現在の好調さは続く。
		住宅販売会社（従業員）	・マンション販売は好調であるが、立地条件の良い物件は足が速く、高い物件や利便性の低い物件は相変わらず売れ残っており、状況に変化は無い。
	やや悪くなる	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・社会時局ものの関連本や雑誌が多く発刊されているが、売上貢献にはほど遠い状況である。
		百貨店（売場主任）	・イラク情勢にもよるが、戦争そのものの経済への影響と共に、消費者心理が一段と悪化する。
		百貨店（企画担当）	・競合店の新規出店もあり、ますます競争が激化するため、売上が上昇する見込みはない。
		百貨店（販促担当）	・先日、当県のシンクタンクが発表した景気動向調査では、当県の景気はほぼ横ばいということであったが、今般の戦争により、トラベル関係ではキャンセルが相次ぎ、消費マインドに水を差している。
		スーパー（総務担当）	・スーパーマーケット関係商品はほとんど変わらないで推移しているが、ビデオレンタルやタイヤ交換などのサービスの一品単価が低下している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（エリア担当）	・ 政情不安という部分で、直接的な影響というものではないが、チケット販売では、海外アーティストの来日が延期になったりといったことが発生しており、売上に貢献するはずのチケットが売れなくなっている。
		コンビニ（エリア担当）	・ イラク情勢の影響が今後どう出てくるか、不透明である。
		コンビニ（エリア担当）	・ 増税や保険料の負担の増加など、新聞やテレビなどで報道されるたびに客の買い控えが起きる。
		コンビニ（店長）	・ 仕事が無く、人の動きが少なくなり、製造または小売業はかなり厳しいという現状を目の当たりにしている。数年前と比べて何が決定的に違って、悪い状況になっているのかという疑問を持つ人が多く、こうした声が出るうちは、まだまだ良くならない。
		衣料品専門店（店長）	・ デフレも一段落した感はあるが、高単価商品を求める客の数では、売上増を望めない状況である。
		乗用車販売店（経営者）	・ グリーン税制の駆け込み需要の反動と、少雪のため1、2月の販売が例年よりもプラス5～10%と予想以上に増えていることとの反動で、販売量が減少すると見ている。
		乗用車販売店（経営者）	・ サービス在庫も、客そのものが減少しているため、前年よりも2ケタ規模で減少する。
		乗用車販売店（従業員）	・ イラク情勢の国内景気に与える影響やクルマの燃料代の上昇懸念、優遇税制の改定などで、市場の動きは縮小する。
		乗用車販売店（従業員）	・ 他社との競合が激しく、台数の確保ができて、獲得利益が減少するという厳しい見通ししか立てられない。
		住関連専門店（経営者）	・ 3月末になって、客の動きがぱったり途絶えている。4、5月は低迷期であり、6月には新型車が投入されるが、時代にマッチした車種ではないため、受注も見込めない。
		住関連専門店（経営者）	・ 裕福な客層の買上は減少していないが、一般客の購買頻度が大きく減少すると見ている。
		住関連専門店（経営者）	・ 3月は年間で最も売上の大きい時期であるが、催事を実施しても売上が伸びず、このままイラク情勢が長期化することで、景気に悪影響を与えないことを願うばかりである。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・ イラク情勢や株価の動きなど、不安材料が多く、将来的には消費が落ち込む。
		その他専門店〔酒〕（営業担当）	・ 先行き不透明感に加え、イラク情勢の影響が懸念される。日本にとってはあまりいい影響が無いと思う。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・ 3、4月は人が動くので、良いが、それが一段落すれば、落ち込む。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・ 社会情勢から、ものの値段がどう変わるか、気になる。物価上昇に伴って、買い控え、などが起きないか心配である。
		一般レストラン（経営者）	・ 石油業界では、イラク情勢の終結と同時に大きな波が来て、更に悪くなると予測している。
		一般レストラン（スタッフ）	・ 2～3か月先の見通しでは、予約の状況を見ても、やはり芳しくなく、タクシーの運転手さんの話も良い話がなく、同業他店の閉店が相次いでいるので、全くもって良くない状況である。
		その他飲食〔そば〕（経営者）	・ 戦争が始まり、気持ち的に景気は下向くのに加え、原油価格が上昇するためものが高くなり、そういう意味でも不景気になる。
		都市型ホテル（経営者）	・ 消費のマイナス要因ばかりが目立つ社会情勢であり、決まった小遣いの中で支払う食事代はますます低下する。例え来客数が伸びたとしても、単価の低下に追いつかない状況になる。
		都市型ホテル（経営者）	・ プラン商品を発売したため、4月までの受注は好調であるが、5月以降の受注が昨年より悪く、今後よほど頑張らなければ後半の売上増は難しいと見ている。他社に対抗し、イベントの回数を増やし、何とか受注増に結びつくよう努力しているが、現状では悪くなるという感じである。
		通信会社（営業担当）	・ 2～3か月後は、各種総会の時期であるが、昨年よりも一段と、出席者数の減少、単価の低下などが見込まれている。今の送別会需要に比べ、若干悪くなる。
		テーマパーク（職員）	・ IP電話関連の価格の安い新しいプロダクトが次々とリリースされる見込みであり、今後は若干なりともその影響を受ける。
		観光名所（職員）	・ 戦争が始まり、先行き不安である。
			・ イラク情勢により、旅行動向に悪影響が出てくる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる	住宅販売会社（従業員）	・例年、新年度に入ると、受注、販売件数が増加するが、イラク情勢や最近の地価動向などで、住宅業界は厳しい方向に推移する。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・イラク情勢が、消費者の不安要素として大きく作用しており、消費経済を冷え込ませている。
		一般小売店〔雑貨〕（企画担当）	・消費者は、慎重に選択して購買している。これは消費に回せる金が少なく厳しい状況にあるというためであり、将来についても消費に回せる金が増える見込みもないという認識である。
		スーパー（経営者）	・イラク情勢の長期化に伴う将来不安や、地方選挙の影響で悪くなる。
		スーパー（店長）	・競合店の改装が続いており、また近くの商圈に競合店がオープンするため、状況は悪くなる。
		スーパー（店長）	・いよいよ県外のディスカウントストアが進出してきた。まだ競合出店は数か月先になるが、客の流出は免れない。
		衣料品専門店（店長）	・社会情勢を見ても、景気回復は考えられない。特にこの戦争によるデフレスパイラルは更に加速する。
		自動車備品販売店（経営者）	・学生の就職率低下による、自動車販売が低迷し、今後良い材料が無い。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・客に買い控えの動きが強く、夏タイヤの動きなどは例年より著しく遅れている。買い替え需要が少なくなり販売が激減するなど、総じて買い替え需要の低迷により全体が低迷している。
		旅行代理店（従業員）	・イラク情勢の長期化が見込まれる。既にガソリンや灯油などの石油製品の値上げが始まっており、どこかに別の問題があるのかもしれないが、家計を直撃していることは確かである。
		タクシー運転手	・深夜2時頃まで稼働していたが、今は客が全くいない状況である。早く終わっても、遅く終わっても、変わらない。
		美容室（経営者）	・景気が悪い上に、イラク情勢の問題があり、消費者意識や経営者のマインドに悪影響を及ぼし、ますます消費の伸び悩みが大きくなる。これは湾岸戦争の時にも起きており、今回はもっと強く出る。
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	電気機械器具製造業（企画担当） 経営コンサルタント	・量的な増加は見られるが、イラク情勢によっては先々変わる。 ・輸出関連の下請け企業では、周囲の環境に影響されず、自社開発などで自立する企業になりたいという相談が増えている。
変わらない		食料品製造業（経営者）	・リストラの終了で、好決算の企業が増え、またイラク情勢により国内旅行が増えるといった効果に期待している。
		食料品製造業（経営者）	・このたび、民事再生法の適用申請をし、地域の皆様にご迷惑をおかけしている。 ・適用以降は、一日も休まず再生に向けて努力する。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・引き続き、仕事量、金額の厳しさが続く。仕事を受注しても、それに見合う利益が出ないという状況はずっと続く。
		電気機械器具製造業（経営者）	・最近の情報は、従来より早くなっているが、決定までに時間がかかり過ぎて、その分短納期となっている。物理的に製造不可能な物件が多発している。またコスト対応も半端でない状況である。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・特にイラク情勢の影響で、物価が上昇している部分もあるので、変わらない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・イラク情勢次第で変わる。
		輸送業（従業員）	・原油価格の値上がり心配である。
		金融業（営業担当）	・企業が人件費を始めとする企業リストラを一層強めてはいるものの、保証協会のセイフティネット保証など資金供給体制が整い始めている。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・これから、気候が良くなるので、段々と購買力は増えると思うが、こういった景気の中では、当面はお金を使わないようにするというのが現状である。
		その他企業〔管理業〕（従業員）	・年度末は、例年フル操業になるが、今のところ、少ない状態である。しかし、仕事は少しずつ増えてきており、多少良くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる	繊維工業（総務担当）	・繊維業界そのものが落ち込んでいる時、イラク情勢により経済がますます消費者に疑心暗鬼を受け付け、消費が落ち込むことが懸念される。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・4月以降の自動車部品の受注動向は、やや陰りが見え出している。それも最新情報が入る度に、下方修正幅が大きくなっている。
		建設業（経営者）	・設備投資計画が全て後送りになっている。この状況では、現在よりもっと景気が悪くなる。
		建設業（経営者）	・仕事の減少に伴い、余剰人員を抱えている企業が多い。建設業への依存度が高い東北の失業問題は今後も続く。
		輸送業（経営者）	・イラク情勢や北朝鮮問題などの社会不安によって、経済の冷え込みがますます大きくなり、景気は悪い方向に向かう。
		広告代理店（営業担当）	・新年度からの得意先の具体的な動きが出ておらず、例年よりも遅い。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・シケによるわかめの大損害で、購読を停止した長期の読者が複数いる。わかめ業者はまだいるので、波及する業種も大きく広い。
	悪くなる	その他企業〔企画業〕（経営者）	・イラク情勢とその影響を眺めているという客が多く、その連鎖的な悪影響が出てくる。
		繊維工業（営業担当）	・イラク情勢の影響が大きく、景気が最悪の状況になる。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・イラク情勢の長期化は、日本経済の低迷を長引かせ、受注量の大幅減に結びつくことが懸念される。
		輸送業（従業員）	・イラク情勢が長期化すれば、航空機燃料が即値上がりし、運賃上昇となり、航空貨物業界は大きな打撃を受ける。
		広告代理店（従業員）	・3か月先までの昨年度実績を潰しているが、昨年度の案件が廃止になったり、また予算が削減されるなど、暗い状況である。
		公認会計士	・不況感が充満している中でのイラク情勢であり、しかも長期化が見込まれるため、一段と悪化する。
	コピーサービス業（経営者）	・ゼネコン不況の中にあって、我々コピー業者もその影響を受ける。	
雇用 関連	良くなる		
		やや良くなる	人材派遣会社（経営者）
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・入札案件が入っており、多忙ではあるが、前年と比べ、好転するような内容ではない。 ・企業の合理化や移転、組織変更などで、一時的な人の需要はありそうだが、2～3か月先の景気を好転させるようなものではなく、現状維持である。
		人材派遣会社（社員）	・良くなるような材料が見当たらない。 ・欠員補充が派遣を利用するきっかけの1つであが、補充もしないという企業も多々ある。また、2人の派遣を1人にするなど、人を増やそうという動きがほとんどない。
		人材派遣会社（社員）	・工場などの大口雇用を抱える企業が直接雇用するという動きは今後あまり考えられないため、変わらない。
		職業安定所（職員）	・足踏み状態が続いている生産活動の中で、個人消費も停滞しており、活発な経済の動きは期待できず、雇用面においても当分の間横ばいの動きになると思われる。
		職業安定所（職員）	・新規求職者数は、前年に比較して減少傾向にあり、事業主都合離職者数も大きく減少しているが、今後は、不良債権処理などの影響で求職者数は増加する。
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・取引業者の絞込みが進んでおり、今後の取引の影響が見込まれ、契約終了の可能性のある企業が増えてきている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・イラク情勢を始めとする経済的な不況、売上不振がじわじわと浸透してくれば、景気は悪くなる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・イラク情勢や選挙など大きなインパクトがあるが、消費動向の膠着が続き、よくなる見込みは無い。
新聞社〔求人広告〕（担当者）		・イラク情勢の動向が、早くも旅行業やエネルギー関連業に影響を与えている。長引くようであれば、採用その他求人を探る会社が増える懸念がある。	
職業安定所（職員）		・自己都合離職者の減少などを受け、求職者数は徐々に沈静化する傾向にあるが、事業主に積極的な求人への意欲が見られない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・イラク情勢や北朝鮮問題などで、企業経営者の多くは、今年度前半は消費が低迷すると見ている。そのため雇用問題も今の状況から改善されない。
	悪くなる	アウトソーシング企業（社員）	・市町村の合併による客数の減少と、それに伴う競争の激化、場合によっては赤字を出しても受託しなければならない局面が出てくるため、悪くなる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・戦争が長引くかもしれない。

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	一般小売店〔金物〕（経営者）	・農作業の活動が増えてくる、下水道工事の予定が入っている等、周りに仕事の兆しがみえているので、やや上向く。
		一般レストラン（経営者）	・会社関係の需要は望めないが、家族連れ、個人の動きが良くなってきている分、上向きにつながっていく。
		通信会社（社員）	・機能が充実したカメラ付の新機種を1月末に2機種、3月に1機種発売したことにより、第三世代携帯電話への移行が急激に増加し、在庫切れの状態になっている。この状態は当分続くので活気が出てくる。
		住宅販売会社（経営者）	・住宅取得時のローン控除の条件が年内入居であることから、契約を早める客が出て、やや良くなる。
	変わらない	商店街（代表者）	・通常であれば人が動き、買い回り品、最寄品などの商品販売に結びつく時期となるが、イラク情勢により、総じて変わらない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・選挙、勤め着、入学等、いろいろ費用がかかるので、その分消費を控えている。イラク情勢の影響もあり、景気の回復はまだ見込めない。
		百貨店（販売促進担当）	・食品から衣料品まで幅広い百貨店の取扱商品の中で、売上好調な商品群が特に見当たらないほど、全体的に低調である。
		スーパー（店長）	・競合店が価格で勝負してくる状況下でも、収益を考えると価格ばかりの商売はできず、今の苦しい戦いが続く。
		スーパー（統括）	・消費者の生活防衛意識の高まりを抑える要因は見当たらない。県内の基幹産業であるIT関連のうち、DVDや携帯電話関連で一部転換はみられるものの、完全な復調はみえず、当面は横ばいである。イラク情勢の長期化は、商品原価の高騰を招き、消費意欲が減退する恐れもある。
		コンビニ（経営者）	・ベースアップも厳しい中、商品の選別も一層厳しくなる傾向にあり、それを上回るマーチャンダイジング、基本の見直しが必要である。
		コンビニ（経営者）	・イラク情勢により、石油等が値上がりするので、景気は良くならない。
		コンビニ（店長）	・値引き商品に対する客の動きは、大分良くなってきている。安ければ買うということで、客の購買意欲は若干出てきており、この傾向は今後も変わらない。
		その他専門店〔携帯電話〕（営業担当）	・イラク情勢もあり、世の中が更に不安定になっているので、見通しが特に良くなることはない。
		高級レストラン（店長）	・数年間空き店舗であった大型店の撤退跡に新規店舗の出店が決まり、多少の来客数の増加は見込まれるものの、客単価の低下を補うだけで、変わらない。
		スナック（経営者）	・選挙の影響で少し下がるが、善光寺の御開帳が始まるので、人出が見込まれる。
		旅行代理店（経営者）	・買い控え、単価の安い物への移行、国内旅行へのシフトが予想され、現在と変わらない。
		タクシー運転手	・イラク情勢は、日本経済や国民にとって良い状況ではない。
		タクシー運転手	・電話か駅待ちで客を乗せているが、景気が悪くなるとタクシーの運転手は増える一方、1日の電話回数はあまり変わらないので、稼ぎは悪くなる。悪い状況は変わらない。
		ゴルフ練習場（経営者）	・イラク情勢が長引けば、今後の景気は悪くなる。
	競輪場（職員）	・4月の異動に伴う歓送迎会やGWにより、一時的に良くなって、大きな変化は見込めない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス〔自動車整備業〕(事務長)	・有効期間2年満了となった貨物車車検の1回目の戻り年に当たるが、台数はさほど見込めない。また、乗用車の戻り年にも当たるので、若干の入庫がある。
	やや悪くなる	商店街(代表者)	・3月にオープンしたアウトレットの真向かいに大型のショッピングセンターが4月下旬開店する。予想の売上高が両方で300億円であり、15キロ離れた当市では来客数がかなり減少する。アウトレットの影響は少なくとも、ショッピングセンターには競合店がいくつも出店するので、やや悪くなる。
		百貨店(販売促進担当)	・イラク情勢の影響で、今後の消費は冷え込む。明るい情報がなく、景気は低迷したままである。
		スーパー(経営者)	・イラク情勢がこのまま長引くことが懸念されているので、原油の値上がり、株価の低迷で、必要な物以外の需要は大変厳しくなる。
		スーパー(店長)	・4月末に近隣に大きなショッピングセンターがオープンするため、来店客の流れがやや悪くなる。また、イラク情勢がこのまま長引けば、商品価格にも影響が出始め、悪い方向となる。
		スーパー(経営企画担当)	・イラク情勢、業績不振の同業大手が激安チラシを出すという噂、中高年客の増加、老人の万引きの増加などから判断すると、景気はやや悪くなっている。
		コンビニ(経営者)	・イラク情勢が長期化する様子で、景気は今よりもやや悪くなる。
		衣料品専門店(販売担当)	・今年は選挙の影響で、春休み、GWであっても消費は落ち込む。来客数が減少している上に、今後郊外店が続々オープンするので、悪くなる。
		乗用車販売店(従業員)	・ベアゼロ回答の企業も多く、ますます高額車が売れなくなり、代替期間も長くなる。
		乗用車販売店(販売担当)	・この2、3か月、中古車に関しては横ばいでいくが、連日、イラク情勢が落ち着くまでは景気が悪くなると報道されている。戦争終結までは、やや悪くなる。
		自動車備品販売店(経営者)	・6月はボーナス時期であるが、ボーナス払いは縮小気味で、お金を使うことが少なくなっている。前年是最悪であり、今年も良くなる見込みはない。
		観光型ホテル(スタッフ)	・善光寺ご開帳の年であるが、7年前のご開帳と比べ、問い合わせが圧倒的に少ないので、やや悪くなる。
		旅行代理店(経営者)	・イラク情勢、東南アジアで発生した重症急性呼吸器症候群が中国を中心に世界中に広まりつつあることなどから、人が動かなくなる。特にイラク情勢が長引くと、景気は悪化する。
		タクシー運転手	・歓迎会などで4月の週末は少し動きがあるが、以後の動きは悪くなる。
		ゴルフ場(支配人)	・近県、県内の一部の冬季クローズコースが一斉にオープンする。選挙の影響や、料金の安いコースへコンペが流れていることから、GWの予約が伸びないので、やや悪くなる。
		競輪場(職員)	・イラク情勢により、経済の先行きが不安定な状況である。
		住宅販売会社(経営者)	・イラク情勢の影響を受け、ガソリンが既に値上げされており、その他石油関連商品の値上げも予想される。不安感により、消費が鈍くなり、金銭の流通が今までより悪くなる。
	悪くなる	一般小売店〔衣料〕(経営者)	・イラク情勢により、不安材料が停滞している。日本だけが良くなることはなく、景気が上向き要素は全くない。
		一般小売店〔青果〕(店長)	・イラク情勢次第だが、成り行きによっては更に悪くなる。ここ最近、行事ごとがあっても、さほど関連商品が動かなくなっているが、今回の彼岸は特にそうである。
		一般レストラン(業務担当)	・イラク情勢により、ガソリン代が値上がりしている。これをきっかけにあらゆるコストが上昇してくる一方、消費者は買控え、財布のひもが固くなる。
		都市型ホテル(経営者)	・地域の大型店が秋ごろに2軒撤退することが決まり、これでデパートは1つになる。先の見通しに明るさは全くなく、景気はますます悪くなる。
		都市型ホテル(スタッフ)	・イラク情勢の影響で、一層景気が悪くなる。特に地域の動きが鈍く、早く打破したいが難しい。
		旅行代理店(営業・管理担当)	・イラク情勢がこのまま続くと、国内、国際とも航空の需要が減少する。
		美容室(店長)	・イラク戦争が長期化することにより、石油、物価が上がり、景気は悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
企業 動向 関連	良くなる	輸送用機械器具製造業 (総務担当)	・一部5～6月にかけて、車種のモデルチェンジがあり、前倒しの生産、売行き次第では増量生産が見込まれる。4～6月の受注量は、対前年比10%強の増加を見込んでいる。
	やや良くなる	化学工業(総務担当)	・期が変わり、海外での需要が出始めたとのことで、4月からの注文は多く入ってきている。
		一般機械器具製造業 (経営者)	・自動車関連の部品は、高水準で横ばいとなり、建設機械関連部品が徐々に増加傾向にあることから、やや良くなる。
		司法書士	・4月から登記手続費用が減額されることになっており、上向き始める。
	変わらない	プラスチック製品製造業(経営者)	・変化する兆候はみえないが、今後戦争の影響がどうであるか不透明である。
		金属製品製造業(経営者)	・イラク情勢による北米の市場、景気、輸出を懸念している。
		一般機械器具製造業 (生産管理担当)	・取引先各社の来期の方針説明によると、今期とほぼ同様の売上を見込んでおり、当社の受注も同様に推移する。
		金融業(経営企画担当)	・個人、法人とも資金需要がなく、とりわけ企業の設備投資資金需要の低迷が目立つ。
		新聞販売店[広告] (総務担当)	・関連の旅行会社では、イラク情勢、香港の重症急性呼吸器症候群等の影響で予約のキャンセルが続き、急遽国内旅行にシフトしたが、反応は鈍く期待できない。また、例年なら多い6月ごろの社員旅行がほとんどまとまっていない。
	やや悪くなる	経営コンサルタント	・業種を問わず、新年度に向けた引合いや、事業開拓の兆候はありそうだが、見極めには時間を要する。
電気機械器具製造業 (経営者)		・4～6月の生産計画は主に弱含みで、売れないことを予測して生産量を控えめにしている。2割の受注減が起きている。	
輸送業(営業担当)		・今後イラク情勢が長期化すれば、原油の関係する全ての取引先が苦しくなる。	
金融業(融資担当)		・大型の消費財や家等は、金利が低いこともあって堅調に推移する。一般の消費は、イラク情勢の長期化及び4月以降の税金等の負担により沈んでいく。	
広告代理店(営業担当)		・サービス業の値下げ競争に歯止めはかからず、今後もシビアな持久戦は続く。クライアントの広告予算も減少傾向にある。	
その他サービス業[放送] (営業担当)		・平成15年度の年間契約コマーシャルが10%近く減少する見通しである。企業の経費見直しにより、新規のコマーシャルが少なく、売上、利益とも減少傾向にある。	
悪くなる	食料品製造業(営業統括)	・イラク情勢の長期化が懸念されており、酒税増税も控えていることから、消費者の購買意欲が更に低下する。	
	電気機械器具製造業 (経営者)	・取引先の資材担当から、4月以降の受注計画は非常に厳しいと言われており、コストダウンの要請も受けていることから悪くなる。	
	その他製造業[宝石・貴金属] (経営者)	・ジュエリーが売れるには明るいムードが必要であるが、イラク情勢を始めとして、株価の低迷、地価の低下など悪い雰囲気が多い。	
	その他サービス業[情報サービス] (経営者)	・イラク情勢により、この数か月は投資の様子見が出てくるので厳しい。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社(経営者)	・求人、求職は、単発応援程度で、現状の人数でやりくりするという動きが強い。時間単価の引き上げは困難である。
		人材派遣会社(経営者)	・前年同期と比較して、自動車、IT関連における新規派遣要請の動きが活発である。派遣料金は3～5%低下している。男性の派遣登録者、特に中高年が目立つようになっている。
		新聞社[求人広告] (担当者)	・イラク情勢により、変わらない。
		職業安定所(職員)	・大手企業の人員整理は一段落しているが、2月末に中小の電子部品製造会社が事業縮小を行った。不安定な国際情勢の中、先行きが不透明であり、雇用環境は引き続き厳しい。
職業安定所(職員)		・管内の新規求人数は、前年同月比で9か月連続して増加しているが、就職者数は伸びていない。引き続き企業整理による離職者が発生することや、求人内容で請負や派遣が増加していることから、求職者の滞留、増加が見込まれ、厳しい状況は変わらない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（経営者）	・ 周辺企業に売上の伸びが全くなく、値引きや客単価の低下が目立つ。
		民間職業紹介機関（経営者）	・ 製造業においては、短納期、低コスト化が激しく、仕事はあっても利益につながらない企業が大変多い。中国進出を積極展開中の企業は移管のための仕事が増加し、一時的に忙しい。一段落した後の国内が、心配の種である。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	・ 3月に16年3月卒業生対象の合同就職面接会が3回開催されたが、参加企業、求人数いずれも対前年比70%程度である。求人内容も専門的、技術的な分野が多く、学生が希望する事務、販売職は半減している。
	悪くなる		

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	コンビニ（経営者）	・ 近隣で10年越しの再開発事業が動き出すため、工事関係者を中心にコンビニやレストランへの来客数が増加する。
		コンビニ（経営者）	・ 来客数は変化していないが、弁当などの食料品は前年水準を維持しており、今後も伸びる余地がある。
		衣料品専門店（経営者）	・ 値ごろ感のある婦人衣料を販売をすれば、業績が上向く。
		家電量販店（店長）	・ 電力異常の関係もあり、省エネが注目されている。冷蔵庫などでは、電気代が10年前の10分の1以下という商品も出ている。夏に向けてエアコンも動くという予測をしており、期待する商品がこれから増加するので、やや良くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ 国内需要が増加すると予想できる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ 宴会場のリニューアル効果が出始めており、受注残を順調に維持できている。
		通信会社（企画担当）	・ 新商品を用意しているので、大きく期待している。
	観光名所（職員）	・ いろいろな業者にあたるなど、集客の努力の結果、客が定着している。	
	変わらない	一般小売店〔茶〕（営業担当）	・ 必要な品は購入するが、余計な品までは購入しない傾向が継続している。法事のギフトについても、一人当たりの購入金額は減少している。
百貨店（売場主任）		・ 3月後半は気温も上がったため、春物商品の動きが非常に良くなってきているが、全体としてはこのまま厳しい状況が続く。	
百貨店（売場主任）		・ UV関連商品が比較的順調に推移するものの、前年のサッカーワールドカップのような特別な需要が見込めない。	
百貨店（営業担当）		・ 前年と大きく異なり、気温の低い日が続く、雨が多いこともあり、春物衣料品が低迷している。戦争も始まり、長期化する様相を呈していることから、景気への影響が懸念される。天候の動向が春物、初夏物衣料品の売出しに影響するため、売上動向は現状のままで推移する。	
スーパー（店長）		・ 気温の低下で春物が売れていないのが大きな要因であるが、卒業、入学、入社等の行事関連商品も売上が良くない。イラクの戦争が長引くと、景気低迷が更に続く。	
スーパー（店長）		・ 来客数は維持しているものの、客単価が下げ止まらず、売上の増加はなかなか望めない。	
スーパー（店長）		・ イラク情勢が非常に不安定であり、この問題が早期解決すれば状況が変化するが、現状ではこのまま推移する。	
衣料品専門店（経営者）		・ イラク戦争の行方、北朝鮮の動向、公務員やサラリーマンの給料や年金など、心理的な不安がある。実収入が減少しているため、財布のひもが堅い。預金金利を5%程度まで上げれば、心理的に金を使う気分になるかもしれない。	
乗用車販売店（営業担当）		・ 新社会人の注文等も全くなく、状況は変わらない。	
その他専門店〔キャラクターグッズ〕（従業員）		・ 新商品の発売や販促イベントの実施により、売上、集客増を期待しているが、結果には結びつかない。	
その他専門店〔眼鏡〕（店員）	・ 月によって来客数が不安定であり、好調を持続できるまでには至らない。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		高級レストラン（宴会予約担当）	・イラクの戦争が長引いて海外挙式が取り消しになれば、国内挙式に取り込める可能性があるが、どの程度振り替わるかは未定である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・夏の婚礼対策として、今年限りの季節限定プランを導入した結果、婚礼の受注件数は昨年並みとなっているが、今後の打ち合わせで単価上昇が図れないと、状況が悪くなることもある。婚礼一件当たりの利用人数も減少しており、先行きは不透明である。
		旅行代理店（従業員）	・イラク戦争が終わっても、今後の需要の動向は変わらない。この2、3か月では、消費者に余裕は生まれない。
		タクシー運転手	・イラク情勢が不透明なので、変わらない。
		タクシー運転手	・規制緩和から1年たち、車の数が増加する一方、客は減少するばかりで、このままでは共倒れになる心配がある。
		タクシー運転手	・イラク戦争が始まり、景気が良くなるとは思えない。
		タクシー運転手	・イラク情勢が終結しない限り、景気に変化はない。
		通信会社（営業担当）	・当社のみならず、入居している大型のショッピングセンターの客の様子や、経営者間の情報交換からも、景気の厳しさは変わらず、明るい材料が見当たらない。
		その他レジャー施設（経営者）	・営業はできているが、新規客の開拓まではできていない。イラク情勢の影響で、皆早く帰宅してテレビを見ているのではないか。
		その他レジャー施設 [アミューズメント]（職員）	・イラク情勢は、現在のところ当業界に悪影響を与えていない。逆に、良い方向に作用しているかもしれない。しかし、長期的にはマイナス要素であり、当業界にも影響が出るのは時間の問題である。
		設計事務所（所長）	・仕事が少ない中で、過当競争が目立つ。住宅もマンションも数が増えすぎていて、これから先どうなるかわからず、不安である。
		住宅販売会社（経営者）	・イラク情勢が客の属する会社の景気にどう影響するかによるが、住宅を求める人は潜在的に多い。戦争を遠い世界のことと感じている人が多いせいだが、今のところ直接的な影響は出ていない。今後戦争が終わることを考えれば、それほど変わらない。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・イラク情勢がかなり影響している。イラクは日本から遠い国であるが、テレビで報道されているので、無関心ではいられず、みんな心配している。
		商店街（代表者）	・商店街に来店する客の動向、株の動き、イラク情勢など、心理的なものが影響している。各事業所でレストランの対象となっている客もかなりいるようで、購買意欲が低下している。
		一般小売店 [鞆・袋物]（従業員）	・戦争が始まり、マスコミが騒いでいるので、海外旅行をはじめ、全ての面で景気が左右される。客はマスコミの報道に敏感であり、戦争が終わって半年間くらいは、厳しい状況が続く。
		百貨店（売場主任）	・景気が上向く様子が全くみえず、戦争による漠然とした不安感が影響して、3か月後は悪くなる。
		百貨店（企画担当）	・店頭の動きをみていると、天候が良くても昨年実績に達するのがやっとで、少しでも天候が悪いと売上が30%程度落ちている。前年比でプラスを出せる日が少なく、月全体で前年並みは確保できない状況がずっと続いているため、今後も全く楽観できず、厳しい状況が続く。このままでは、経費削減も売上減に追いつかず、経営は更に厳しくなる。
		百貨店（販売促進担当）	・天候が回復すれば、春物の動きが良くなると予測される。ただし、今のところ直接的な影響は出ていないものの、戦争が始まったので、買い控えが広がることが懸念される。
		百貨店（販売促進担当）	・イラク情勢の長期化による先行きの不透明感が、一般庶民にまで及んでいる。また、年金や医療保険制度の先行き不安が、今後の消費動向にも悪影響を及ぼしている。
		百貨店（営業企画担当）	・百貨店の主力顧客である40歳代から50歳代向けのファッション衣料が、前年比10%割れである。イラク情勢の影響も加わり、新しいファッションを身に付けようという心理にならず、実需要のみの消費にとどまる傾向が更に強まる。
		スーパー（運営担当）	・イラク情勢の長期化が、世界情勢を圧迫する危険性がある。
		衣料品専門店（経営者）	・良くないニュースばかりが報道されている。イラク情勢も長引く様子で、先行き不安な要素が多すぎる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（販売担当）	・春物衣料がいまひとつ盛り上がらない。客足も、戦争が始まった日の午後はばったり少なくなった。今後、景気は少し悪くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・イラク戦争が落ち着くまで、景気は上向きにならない。
		乗用車販売店（販売担当）	・イラク情勢とテロへの不安、金融の先行き不透明感などが払拭できていない。
		その他小売〔雑貨卸〕（経営者）	・イラク情勢と北朝鮮の不安定な状況が続く。
		一般レストラン（経営者）	・イラク情勢の影響が消費に出ている。今後どのようになるか分からないという警戒心が、輪を掛けて消費を鈍らせている。
		一般レストラン（店長）	・客は酒の席でも、戦争の先行きへの不安や3月決算の結果を話題にしており、今後景気が悪くなると考えている客が多い。
		都市型ホテル（スタッフ）	・戦争により官公庁関係の検討が少なくなる。ガソリンの値段が上がるので、トラックやタクシーの組合の自粛が懸念される。
		都市型ホテル（スタッフ）	・イラク戦争が長引くと、宿泊、宴会需要ともに、大きく落ち込むことが予想される。
		旅行代理店（従業員）	・春先の旅行の問い合わせや受注が特にならない。
		旅行代理店（従業員）	・イラク戦争の長期化により、客の海外への出控えが予想される。
		タクシー（団体役員）	・株価も下がり、イラク情勢も互いの情報合戦の様相を呈している。世界的反戦運動も広がっており、良い材料が全くみえてこない。
		パチンコ店（経営者）	・イラクで戦争が始まり、長期化しそうであること、現状がさほど良くないことから、先行きは厳しい。
		美容室（経営者）	・イラク情勢の影響が間接的に出る。今後どうなるか、予測がつかない。
		その他サービス〔語学学校〕（総責任者）	・訪問者数、販売数、他社の動きから、厳しい状況が続くと判断できる。イラク情勢を受け、留学センターの来訪者が減少している。
		住宅販売会社（従業員）	・税制改革などがあり、販売量については相応の数が見込めるが、仕入が全くできていないため、2、3か月後に売り物が無い状況が続く。
	悪くなる	一般小売店〔茶〕（経営者）	・イラクでの戦争が長引くという予想があり、消費者も必要以外は出費を抑えるため、消費が落ち込む。
		一般小売店〔米穀〕（経営者）	・今まで売れていた新潟米や新潟の魚沼米が暴騰している。この状況が続けば、客が敏感に反応して得意客が減る。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	・戦争と選挙が影響する。
		コンビニ（経営者）	・イラク戦争等の影響をどの程度受けるか、心配している。
		衣料品専門店（経営者）	・イラク情勢の影響で、皆が怖くなって金を使わなくなっている。学生服についても、中古品をもらうなど、新しく購入する客が大きく減少している。
		衣料品専門店（次長）	・イラク情勢の影響で石油価格が上昇し、製品材料の価格も高騰するため、消費が冷え込む。
		自動車備品販売店（経理担当）	・売れ筋商品が伸び悩んでいる。注文をもらっても、客の都合で、ほとんどが取り消しになる。
		一般レストラン（経営者）	・戦争終結の時期が問題である。景気の不透明感は拭えない。
		スナック（経営者）	・3月は送別会シーズンなので、例年であればにぎわう時期であるのに、今年は送別会の数が少なく、行っても小規模である。4月、5月は新入社員の歓迎会があるが、こちらも期待できない。
		通信会社（社員）	・イラクでの戦争の長期化によって、日本の対米支援額が巨大になり、景気が悪くなる。
		美容室（経営者）	・周辺にディスカウント店が増えすぎている。
		設計事務所（経営者）	・昨年の12月以降、新しい仕事が全くない。同業者にも仕事は皆無で、民間、行政いずれからも仕事がない。戦争の影響もあるかもしれないが、6、7月まで仕事がない状態が続く。
		住宅販売会社（経営者）	・従来と比較し、金融機関の融資が非常に厳しくなっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・企業からの注文が例年になく増加しており、忙しい。
	変わらない	繊維工業（経営者）	・イラク情勢等で、世の中全体が沈滞ムードとなっており、この傾向は当分継続する。
		金属製品製造業（経営者）	・試作仕事主である当社の3月売上は、期末に多くの取引先で予算がなくなったため、20%減となりそうである。多くの取引先では、4月後半ごろから来期の予算が使えるが、その額は前年度並みである。イラク情勢の悪化、北朝鮮問題が流動的で、仕事が減ることはあっても増えることはない取引先に言われている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・今後のイラク情勢に注目している。一部の会社で受注が減少しているという話はあるが、その他の会社ではまだ影響はないようである。弱電関係は、相変わらず忙しそうである。
		電気機械器具製造業（経営者）	・引き合いや見積り要請の状況から、この先も今まで通りの受注は確保できる。戦争の影響は今のところない。
		建設業（経理担当）	・新年度を迎えるが、予算をみると、今までの年のような明るい材料が見当たらない。
		金融業（審査担当）	・前向きな資金需要が依然として少なく、取引先の受注や売上高も減少している。
		金融業（渉外担当）	・来年度の設備投資計画について、更新投資程度ですませる企業がほとんどであり、借入をしてまで設備投資をしようとする企業は皆無である。
		税理士	・イラク情勢、北朝鮮の問題があって、それらの影響による米国の景気の動きが、国内の問題よりも主である。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・新規問い合わせも入るようになってきているが、取引がなくなったり、取引量が減少しているケースも多く、全体ではまだ厳しい状況が続く。
	その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・IT関連設備への投資について、顧客が新年度の予算要求をしても、実際に予算がつくのか、難しい状況である。	
	やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・受注から納品までの期間が短縮されている。得意先からの発注も遅くなり、3か月先の見通しが立てにくい。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・新年度恒例の値下げ、値引き競争、イラク情勢の長期化で、先行きが非常に心配である。
建設業（営業担当）		・不況の影響もあり、設備投資ができる余力のある顧客が少なくなっている反面、イラク情勢の緊迫化に伴い物資が高騰していることもあり、仕事の受注にも影響している。当面、景気の回復は期待できない。	
金融業（得意先担当）		・以前は建設関係の倒産が多かったが、今は業種にかかわらず倒産、不渡りが増加しており、今後も増える予想される。	
不動産業（総務担当）		・空室を埋めるためには、賃料の思いきった値下げしか手段がなくなる。	
広告代理店（従業員）		・全体的に売上が落ちている。行政の仕事に伴う売上も、軒並み減少している。	
悪くなる	食料品製造業（経営者）	・石油製品の値上がりにより、原材料などの値段が上がる。	
	輸送業（総務担当）	・得意先の新年度の出荷計画では、現在の輸出の特需はあるが、安定確保が必要な国内出荷が昨年比60%となっており、非常に厳しい。今年は昨年以上に厳しくなると認識している。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（営業担当）	・積極採用に向けて、動き始めているところが出てきている。
		求人情報誌製作会社（編集担当）	・4月に主要駅前の再開発ビルがオープンするので、街に活気が出る。
		職業安定所（職員）	・大手企業の進出の話もあり、それに伴う雇用が見込める。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・パートの比率が多少高くなってきているが、求人は確実に増加を続けており、今後数か月も同様に推移する。
求人情報誌製作会社（企画担当）		・中小企業の経営者の多くは、4月以降景気が持ち直すと考えていたが、戦争が始まったため、この数か月は良くなれないと考える人が増加している。	
		・株価の下落により、中途採用を計画していた企業が採用を見送る状況が生じている。先行きについては、全く不透明である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・正社員求人は前年並みで、パート求人の増加率の方が高い。求人については、業務請負業の大量求人が目立つ。求職者数は前年並みであるが、人員削減の情報は多く、今後も現在の状況が続く。
	やや悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・米国同時多発テロの時には、多くの外資系企業の契約が終了した。今回の戦争により、同様のことが起きる可能性がある。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・3月であるにもかかわらず、募集広告数が例年よりも減少している。連休明けには、今以上に減少することが予想され、中高齢者にとって非常に厳しいと予想される。
		職業安定所（職員）	・求職者の自己検索機利用状況を分析すると、25～34歳で23.5%、50～59歳で28.7%と、これらの年齢層で全体の52.2%を占めている。高齢者の滞留、若年者の労働条件等の悪化がうかがえる。
		学校〔専修学校〕（就職担当）	・採用計画を未定に変更した企業担当者から、更に採用見送りとなる可能性が高いという話を多数聞いている。
	悪くなる	民間職業紹介機関（経営者）	・雇用条件が良くなる兆しがない。大企業出身の中高年齢者が再就職した場合、給料が半減するのは常識となっている。
		学校〔短期大学〕（総務担当）	・国内における金融等の経営不安、国際的にはイラク情勢の長期化による経済不況の恐れが感じられる。

5. 東海（地域別調査機関：（株）U F J総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	商店街（代表者）	・イラク情勢に関連した特需が発生し、その波及効果によって良い影響が出る。
	やや良くなる	一般小売店〔土産〕（経営者）	・イラク情勢が一段落した後、復興活動に伴う良い影響が出る。
		百貨店（企画担当）	・春物の動きが良く、高級ブランド品も順調に推移している。
		スーパー（仕入担当）	・コンビニ等の出店が相次ぎ予断を許さないが、店舗改装や競合店とのより一層の差別化により、客数は増加する。
		乗用車販売店（従業員）	・新商品が出てくる。
		乗用車販売店（従業員）	・イラク情勢の行方が懸念されるが、経済の動向としては良い方向に向かう。
		乗用車販売店（総務担当）	・イラク情勢が一段落した後、原油価格も低下して、底打ち感が出てくる。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・介護保険対象の福祉用具貸与品目が増え、新たな市場が伸びる。
		設計事務所（経営者）	・わずかではあるが、新しい計画が出てきている。
	変わらない	スーパー（経営者）	・客単価は1800～2300円と低下したままである。雇用環境が不安定であり、イラク情勢の影響も心配される。
		スーパー（経営者）	・相変わらずのチラシ合戦で低価格による乱売が続いている。また、バーゲンを狙った買物客がだんだん増えてきている。
		スーパー（経営者）	・イラク情勢の影響が心配される。
		スーパー（店長）	・健康保険料、社会保険料の負担増加、発泡酒の増税等があり、今後の回復見込みはない。
		スーパー（店員）	・競合店の進出があり、来客数はかなり減少している。
スーパー（店員）		・客の低価格志向が強いため、競合店との価格競争が激化している。	
コンビニ（エリア担当）		・同業他社との競合は更に厳しくなっており、売上の前年割れ状況は今後も続く。	
衣料品専門店（企画担当）		・購買意欲を喚起できる要素がみあたらない。今後もシーズンピークでの売上の減少が予想される。	
家電量販店（店長）		・新製品が一定のペースで出てくるが、エアコン等でも高額商品の売行きはあまり望めない。	
一般レストラン（スタッフ）		・売上の前年比が低下している。	
スナック（経営者）	・毎月の売上が前年を上回ることがない。客の話題も暗いものが多い。		
都市型ホテル（スタッフ）	・ゴールデンウィークの宿泊予約が少ない。		
美容室（経営者）	・通常のヘアカットにプラスアルファする部分で、お金を使わなくなってきている。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・イラク情勢の影響で原油、石油製品の高とうが見込まれ、現状維持は難しい。
		商店街（代表者）	・商店街の雰囲気全体が弱い。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・昨年一年間で地元小売業の店舗数が10%程減少している。活気のある当商店街でも廃業、賃貸への契約変更などが6.5%ほどあり、今後も小売業の先行きは暗い。
		一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	・イラク情勢の影響が出てくる。
		一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・全ての面で先行きが不透明で、消費意欲が伸びて来ない。
		百貨店（売場主任）	・イラク情勢の影響で、輸入の多い靴などの革製品の仕入れ価格の上昇がある。
		百貨店（企画担当）	・イラク情勢の影響で、客の購買意欲が低下する。特に高級輸入ブランドなどの高額品が影響を受けやすく、全体の業績にも大きなダメージとなる。
		スーパー（店長）	・イラク情勢の影響で、客は購買に対して一層慎重になる。
		コンビニ（経営者）	・個人経営の商店、コンビニで廃業が相次いでいる。
		コンビニ（エリア担当）	・各店の経営に余裕がないうえ、新たな競合店の進出予定がある。
		家電量販店（経営者）	・客は買物に慎重で、買い得商品ばかり購入している。そのため単価、売上も減少する。
		乗用車販売店（経営者）	・イラク情勢の影響で、今後は消費がさらに減少する。
		乗用車販売店（従業員）	・イラク情勢の影響もあり、先行き不安である。
		住関連専門店（営業担当）	・リフォーム工事が多少出てきている反面、新築の落ち込みが著しい。
		高級レストラン（スタッフ）	・客の賃金が伸びないうえに、社会保険などの負担が増加し、先行きに楽観できる要素がない。
		観光型ホテル（スタッフ）	・割引パックの予約が中心になっており、一般商品は2割ほど落ち込む。
		都市型ホテル（スタッフ）	・イラク情勢の影響で宿泊、宴会がキャンセルされている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・企業の努力だけではどうにもならない状況である。
		旅行代理店（経営者）	・イラク情勢、北朝鮮情勢が大きな懸念材料になっている。
		旅行代理店（従業員）	・イラク情勢の影響が更に顕著に出てくる。
		旅行代理店（従業員）	・イラク情勢の影響で海外旅行が減少する。
		タクシー（経営者）	・イラク情勢の影響が出てくる。
		タクシー運転手	・イラク情勢の影響でガソリンの値段も高とうし始めている。
		通信会社（企画担当）	・イラク情勢の長期化により、大きな影響が出てくる。
		ゴルフ場（経営者）	・予約状況は前年を大幅に下回っており、回復の兆しが見えない。過去に経験の無い、非常事態である。
		パチンコ店（経営者）	・客の消費意欲が冷えている。
		パチンコ店（店長）	・客単価、稼働率を上げていたスロットル機の規制により、現状を維持、もしくは上向かせるのは困難である。
		その他サービス〔パチンコ機器製造販売〕（エリア担当）	・パチンコ店との新規の商談が減少している。
		設計事務所（職員）	・イラク情勢の影響が出てくる。
		住宅販売会社（従業員）	・イラク情勢の影響により、消費意欲も低迷している。
住宅販売会社（企画担当）	・イラク情勢の長期化による影響が出てくる。		
悪くなる	商店街（代表者）	・不況が続いているため、優良な店でも見切りをつけて廃業していく。	
	コンビニ（店長）	・酒税の値上げにより、ディスカウント店やスーパーへますます客が流れていく。	
	衣料品専門店（経営者）	・底が見えない状況である。	
	乗用車販売店（経営者）	・他社が新型車を投入してくる。	
	その他専門店〔雑貨〕（店員）	・イラク情勢の長期化が消費意欲をますます低下させる。	
	スナック（経営者）	・3月の歓送迎会の予約は2件しか入らなかったが、4月、5月と連休に入るため客は更に減少する。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住宅販売会社（業務担当）	・住宅販売の動向をみても同業者の倒産等をみても、今後良くなる要素がない。
企業動向関連	良くなる	電気機械器具製造業（営業担当）	・イラク情勢が一段落すれば状況は良くなる。
	やや良くなる	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・6月以降は受注残が改善される。
		輸送用機械器具製造業（工務担当）	・生産負荷、対前年比の台数ともに、高水準を維持している。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・現在の販売量を維持するのが精一杯である。
		化学工業（人事担当）	・特に変わらないが、イラク情勢が長期化した場合は悪化する。
		電気機械器具製造業（従業員）	・比較的安定していた公共事業向けの部品でさえ、値崩れを起こしてきている。
		建設業（企画担当）	・地域の大型プロジェクト関連は予測が困難である。中型物件が今後増えたとしても、価格競争がよりし烈になるだけである。
		輸送業（エリア担当）	・3月決算期の動きでさえ昨年と比べて5%程度低下しており、今後しばらくは好転が見込めない。
		輸送業（エリア担当）	・トラック輸送は受注が減少し始めてから2~3か月後に世の中の景気が悪くなるが、現在のところ受注は減少していない。
		金融業（従業員）	・イラク情勢が長期化するかどうかで状況は変化する。
		金融業（企画担当）	・現在の市場価格でも利益が出るようなリストラが進まない限り、好転することはない。
		広告代理店（制作担当）	・定期的なイベントへの参加を今年は見送るといふ企業が出てきており、広告予算が減少してきている。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・折込広告件数に大幅な落ち込みはみられない。
	やや悪くなる	食料品製造業（経営者）	・イラク情勢など不安定要素があり、先の見通しが立たない。
金属製品製造業（従業員）		・設備投資は更に減少する。イラク情勢の影響で石油価格が上昇し、材料の値上げも懸念される。	
金属製品製造業（社員）		・仕事量が低迷している影響が今後更に出てくる。	
一般機械器具製造業（経理担当）		・イラク情勢の影響などによる外的要因が大きい。	
電気機械器具製造業（経営者）		・今後国内販売は年度末需要が一段落し、海外はイラク情勢の長期化が懸念されるため、需要が落ち込む。	
輸送用機械器具製造業（経理担当）		・イラク情勢の長期化に備えて在庫の上積みが必要である。	
輸送業（エリア担当）		・国内や米国景気の現状は思わしくなく、更にイラク情勢に伴う不確定要素が加わるため、仕事量に影響が出てくる。	
輸送業（エリア担当）		・イラク情勢の長期化の影響が表れる。	
広告代理店（従業員）		・企業や自治体の来年度予算に期待が持てない。	
悪くなる		非鉄金属製品製造業〔铸件〕（経営企画）	・市場の縮小が一段と進んでいる。
	公認会計士	・中小企業の淘汰がまだ一巡していないうえに、今後イラク情勢の影響も出てくる。	
雇用関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・43業種のうち31業種で求人増加がみられる。しかしイラク情勢が長期化すると状況は変わる。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・東海地域では製造業で学生の求人が増加している。理系中心であるが、文系学生も理系の資格の取得者には求人が増加している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・派遣ニーズはあるが、派遣料金が抑制され、利益率が低下している。
		人材派遣会社（社員）	・短期契約の比率が増加しており、慎重な様子がうかがえる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・求人は3か月前と比較すると多少良くなっているが、1、2月と比較するとやや減少傾向である。
求人情報誌製作会社（企画担当）		・正社員の雇用意欲は依然として低く、アルバイト、パートの動きが中心である。	
職業安定所（所長）	・求人数、求職者数は大きく変化していない。		
民間職業紹介機関（経営者）	・東海地域は自動車業界の好況に支えられているが、イラク情勢が長期化すれば北米の販売台数に影響が始め、求人に影響が出てくる。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・派遣社員は増加しているが、正社員は減少の一途である。派遣社員も、取引先からのコストダウン要請が強まる。
		職業安定所（職員）	・新規求人は好調な製造業に支えられ比較的安定しているが、今後は不良債権処理やイラク情勢等の影響により厳しくなる。
		職業安定所（職員）	・企業は早期退職者のあっせんなど、人件費の節約によってリストラを進めている。
	悪くなる	-	-

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	一般小売店〔鮮魚〕（店長）	・最近では野菜などの一品単価が若干上がり、客単価もやや上昇している。
		家電量販店（経営者）	・エアコンの立ち上がりが昨年より早く、大変好調である。今後の天候次第であるが、今年はかなり期待できそうである。
	変わらない	商店街（代表者）	・例年であれば、卒業、入学などのお祝いやお返しなどの進物で賑わうが、今年は期待できない。 ・空き店舗が短期間で激しく入れ替わっている。
		商店街（代表者）	・商店街で商売をやめた人は空き店舗にしているが、残った人は頑張るしかないという気持ちで取り組んでいる。
		百貨店（売場主任）	・4月になっても就職の決まらない人が多いため、紳士物ではスーツ、ネクタイ、ワイシャツなどのビジネス商品の売行きが非常に悪くなる。また、イラク情勢が早く解決しないと世の中の景気が上向かない。
		百貨店（営業担当）	・これから初夏から夏にかけてファッションの変わり目になるが、業界を見渡しても目新しい商品、話題性のある商品がなかなか見当たらない。
		百貨店（営業担当）	・自分の物を求める場合は単品買いが中心となっており、今後婦人ファッションにヒット商品が出ない限り、まとめ買いに進むことはなかなか難しい。
		スーパー（店長）	・良くなる材料は全くない。競争がますます激しくなる中で、客の要望にこたえ、個性を發揮できる企業が勝ち組として生き残る。
		スーパー（店長）	・来客数や買上点数の増加、単価の上昇などがほとんどみられないため、客の財布のひもは引き続き固いままである。
		スーパー（営業担当）	・客の買い方から判断して、季節商品の切替えや催事のタイミングさえ間違えなければ、今まで以上の購入が期待できる。
		衣料品専門店（経営者）	・イラク情勢が悪化するなか、陽気が良くなるとともに景気の回復も期待したい。
		乗用車販売店（総務担当）	・3月は季節柄販売量は伸びるが、4月から排出ガス規制、グリーン税制などの変更があるため、3月の反動によりやや落ちる。
		乗用車販売店（営業担当）	・30～40代の客の購入が低迷している。それ以降の年代は車をあまり買わない。
		住関連専門店（店長）	・厳しい売上が続いている。しかし、客は必要なとき、必要な商品を購入しており、潜在的な需要は確実にあるので、これ以上の買い控えは生じない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・4月は宿泊部門、レストラン部門、宴会部門がいずれも前年同月を下回る見通しであるが、5月は宴会部門で前年を上回る。2か月を通してみると、前年をやや上回る見込みである。
		旅行代理店（従業員）	・海外旅行は今一つであるが、国内旅行によって昨年並みの売上がカバーできそうな見通しである。
タクシー運転手		・これから春先にかけて観光客などの需要はあるが、昨年後半から今年3月までに各社のタクシーが100台増車され、競争が激しくなったため、総体的には変わらない。	
住宅販売会社（従業員）	・総合展示場の来場者数は当社のスペースだけ若干多いが、全体としては例年に比べてそれほど増加していない。		
やや悪くなる	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	・取引先の飲食店関係では、例年この時期に多い新規開業の話が聞かれず、逆に倒産や廃業の話が多い。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（営業担当）	・3月は気温が低かったため、今後春物、初夏物の動きが出ると思われる。しかし、初夏、夏に向けて、婦人ファッションのトレンドがまだ具体的に見つからないため、需要の喚起は厳しい。
		スーパー（店長）	・例年4月は入学、引っ越しシーズンのうえ、税金の納付なども加わり、出費の多い時期である。更に、株価の低迷、イラク情勢の悪化など暗いニュースが流れ、客の財布のひもは例年以上に固くなる。
		スーパー（店長）	・イラク情勢、景気動向、他店との競合の影響などからみて、客の低価格志向がますます加速し、またバーゲン期になっても価格の低下が一層顕著になる。
		スーパー（総務担当）	・来客数や買上点数は変わらないが、単価が一層低下しているため、売上の増加は難しい。
		コンビニ（エリア担当）	・夜間の来客数が大幅に減少している。理由は消費者心理の冷え込みにより、夜は外出を控え、また外出してもあまり物を買わないためとみられる。
		乗用車販売店（経営者）	・販売量も単価もますますダウンする傾向にあり、上向く材料がなかなか見当たらない。
		その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	・ドラッグストアの競争状態が続いており、自店、他店ともに出店速度が加速している。1、2年後に淘汰されるまで現状は変わらない。
		高級レストラン（スタッフ）	・前年は大河ドラマという特需があったが、今年は好材料が少なく、特に観光客が減少している。
		一般レストラン（店長）	・3、4月は卒業、入学シーズンで持ち帰りずしが売れる時期であるが、高いものは売れない。
		観光型旅館（スタッフ）	・前年と比較して、予約保有件数の差がなかなか埋まらず、むしろやや拡大傾向にある。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会部門の予約状況は順調であるが、宿泊、レストラン、婚礼の予約が弱く、売上は減少する。
		通信会社（社員）	・イラク情勢の影響により、ガソリン、灯油の価格が上昇しており、全体的に景気は下向きになる。
		通信会社（営業担当）	・新規購入の見込客が徐々に減少しており、低価格商品を導入するか、大幅な割引キャンペーンを実施しないと、販売増が見込めない状態が続く。
		悪くなる	
コンビニ（経営者）	・イラク情勢の影響などもあり、いつものことながら明るい動きが全く見えない。		
その他専門店〔酒〕（経営者）	・イラク情勢、株価などすべてに明るい兆しが無い。先行き不透明なため、更に悪化する。		
観光型旅館（経営者）	・4月の統一地方選挙及びゴールデンウィークの休日の並びが悪いと、予約数が伸びてこない。		
テーマパーク（職員）	・2～3か月先の予約状況は前年比2けた近い減少である。近隣の温泉地の予約状況も同様である。大河ドラマや近くの名刹のイベントが終了した反動もあり、大幅な減少が予想される。		
企業動向関連	良くなる やや良くなる	-	-
		繊維工業（経営者）	・5月から秋、冬物の生産シーズンに入る。コスト面では厳しいが、開発商品に期待している。
変わらない		電気機械器具製造業（経理担当）	・携帯電話は次世代機種が浸透し、景気のけん引役が期待できる。
		食料品製造業（企画担当）	・業界の中で企業の淘汰がみられる。現在の価格が更に低下すると、原材料価格が不安定なだけに厳しくなるが、現状は底に近いと判断している。
		繊維工業（経営者）	・現状ではあまり変化はないが、イラク情勢の影響が懸念される。
		化学工業（営業担当）	・販売量は多少増加傾向となるが、価格の軟化により売上増は期待できない。
		通信業（営業担当）	・4月から次世代携帯電話のエリアがまた拡大されるが、この機種への切替えは少し先になると予想され、売上げに大きな変化はない。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	・新聞購読料の集金が少しずつ遅れがちになっている。
		司法書士	・自分の債務整理に関する相談のほか、最近では保証人になったという事例での相談が非常に増えており、今後も経済状況は良くならない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる	金属製品製造業（経営者）	・これから先の受注予約量が減少している。
		精密機械器具製造業（経営者）	・小売店での販売状況の落ち込みが昨年末から続いており、低位横ばいとなっている。この影響が春すぎから出てくる。また、最近では小売店の顧客サイドでの価格競争が激化しており、メーカーの収益状況が悪化する。
		輸送業（配車担当）	・イラク情勢の悪化などが盛んに報じられており、今後景気が上昇する明るい要素が見当たらない。
	悪くなる	金属製品製造業（経理担当）	・イラク情勢の長期化により、景気は低迷する。
		建設業（経営者）	・4～6月は工事の出ない時期である。更に、公共工事の下請受注についても非常に厳しい見積を出しているため、受注の確保が心配である。
		建設業（総務担当）	・見積を依頼されても、最終的な提示価格においてはますます採算の確保が困難になっており、業況は悪化の一途である。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人件数の動きを昨年4月から今年3月までの1年間でみると、前年比でほぼ同じ状況である。地方の状況は持ち直した感があり、これから求人は増えていく。
		職業安定所（職員）	・現在のところ、大量離職が発生するという情報はない。また、低迷していた製造業の求人が回復基調にあり、当面は新規求人の上向き傾向が続く。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・例年4月は新入社員の採用で受注が落ちる時期であるが、今年は採用の抑制から即戦力の人材を求める動きもあり、先行きは若干明るい。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・先を見据えた求人、将来に備えた求人がほとんどなくなっている。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・新規求人数が前年比で1年ぶりに減少に転じている。また、今月も数件のリストラ情報が入っている。
民間職業紹介機関（経営者）		・新規の雇用契約料金が若干低下傾向にある。	
	悪くなる	-	-

7. 近畿（地域別調査機関：（株）大和銀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	その他レジャー施設〔球場〕（企画担当）	・プロ野球公式戦が開始するが、在阪のある球団は戦力的に充実しており、リーグ優勝が狙えると見込まれている。あと一つの在阪球団についても、今年は当球場で8試合が予定されているが、シーズンオフ中の補強により戦力がアップしていることから、好試合が期待され、来場者数の増加が見込まれる。
	やや良くなる	一般小売店〔酒〕（経営者）	・地元ケーブルテレビで取上げられることによる販促効果が、今後良い結果で表れると期待される。
		百貨店（売場主任）	・イラク情勢の影響により、過去の湾岸戦争時にみられたような海外旅行の中止による、ブランド商品や高額品への消費のシフトを期待している。とりわけ、ゴールデンウィークの海外旅行のキャンセルが増加していることから、この期間の売上推移を注視したい。
		百貨店（売場主任）	・消費の牽引役であった若年層に買い控えの動きがみられるが、中高年層は今後株価の動きにもよるが高額品の需要が高まると予想する。
		百貨店（企画担当）	・イラク情勢の影響は予想がつかないが、気温、気候がよくなれば、後倒しで春物が動き出すと考えられる。
		百貨店（営業担当）	・売上については厳しい状況が続くが、近日オープンする新規ショップの集客効果を期待したい。
	スーパー（経営者）	・一昨年の米国同時多発テロの際に、海外旅行を取りやめてブランド品や高級時計などを買う動きがみられた様に、今回もイラク情勢の影響で、多少は旅行から買物に時間とお金が行くと期待できる。	
			・イラク情勢や経済状況の先行き不透明な状態が続く見込みで、中食、内食の割合が上昇する。発泡酒増税前の駆け込み需要やゴールデンウィークを近場で過ごす家族の増加が予想され、食品小売業にとってはプラスとなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		高級レストラン（支配人）	・徐々に売上の回復傾向が見受けられ、今後も安定が見込める。
		旅行代理店（広報担当）	・イラク情勢が早期解決されると報道されているので良くなっていく。
		通信会社（経営者）	・受注案件及び自社商品共に順調に伸びていることから、先行きに期待できる。
		通信会社（社員）	・大手通信電話会社による携帯電話の新機種発売が控えており、先行きに期待できる。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	・イラク情勢による不安定要素はあるものの、住宅ローン減税による需要と住宅取得資金贈与の特例のダブル効果が期待出来る。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・昨年の東京圏に続き、大阪圏でもようやく、一部のエリアに限定されるものの、中古不動産相場が若干反転上昇しており、不動産価格の将来的な下落感に歯止めがかかる可能性がある。
	変わらない	一般小売店〔花〕（経営者）	・景気回復の要因が見当たらない。イラク情勢もあり、経済情勢がどのように変わっていくのかという不安もある。
		一般小売店〔精肉〕（管理担当）	・食品は価格等で底を打った感はあるが、イラク情勢の問題解決が長期化すると予想されていることで、日本経済への悪影響が消費者の心理的不安をもたらしている。
		一般小売店（経営者）	・案件ベースで今後3か月をみても、新たなオフィス備品需要は官庁関連、特に福祉関連に限られる。民間の案件がほとんどない。
		一般小売店〔精肉〕（管理担当）	・イラク情勢により経済環境が大きく変動する要素がある。
		百貨店（売場主任）	・目的買いの需要もなく、トレンド商品が見当たらないため、急激に消費が上向くとは考えられない。
		百貨店（売場主任）	・6月は秋物商材が動き出す時期であるが、この春の動きをみると購買意欲がある程度回復すると予想される。世界情勢が不安定なため、安近短指向の顧客や観光客が増加することによる購買力の増加が見込める。
		スーパー（経理担当）	・気温が上昇し春の行楽シーズンを迎えるほか、新学期、ゴールデンウィークなどイベントが連続するため、セールを仕掛けやすい時期となるが、売上については前年比で大きな伸びを見込める環境にはなっていない。
		スーパー（経理担当）	・駅前の開発が進んでいるため、駅前立地商圏で供給が過剰になると予想され、悪い状況が今後も続く。
		衣料品専門店（営業・販売）	・周囲の状況が悪くても、必要な物、欲しい物は購入するという客が増えており、引き続いて先行きに期待が持てる。
		家電量販店（店長）	・AV機器、大型テレビが売れているが、買替え商品はサイクルが長くなってきていることから、先行きの見通しは厳しい。
		家電量販店（経理担当）	・企業業績は回復基調にあるが、リストラによる回復であり個人消費に好影響を与えることは考えにくい。現在株価の急速な下落で消費マインドがかなり落ち込んでいるので、これ以上の落ち込みはないのではないかと思う。イラク情勢の問題解決が長引けば悪くなる可能性も否定できない。
		家電量販店（企画担当）	・欲しい物はあってもなかなか購買に結びつかない。良い物を購入する意識は上がっているが、今後も買い控えが目立つと予想される。
		家電量販店（営業担当）	・DMの販促策など売出しの案内状に対する反応が鈍い。来店しても購入しない、購入目的がないという状況が続いている。今後も厳しい状況が続く。
		乗用車販売店（営業担当）	・商用車が売れているが、企業もイラク情勢の影響で様子をみている。また、収入減のため買替を控えていることなどをみると、今後落ち込むことはないが、伸びることもない。
		乗用車販売店（販売担当）	・イラク情勢に関連がある。
		住関連専門店（経営者）	・現在は都心近郊からの引き合いに加え、地方からの引き合いも非常に弱い状態が続いているが、この状況が今後も続くと思われる。
		一般レストラン（スタッフ）	・イラク情勢の影響で経済状況に変化が出てきているが、大きな変動はないと予想される。
		観光型ホテル（経営者）	・先の予約状況をもみても非常に悪い。最近は間近予約の傾向がかなり強いため、先の予約状況だけでは判断しにくいですが、従来の単価ではなかなか予約が成立しにくくなっている状況である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光型ホテル（経営者）	・イラク情勢の影響で、不安、閉塞感はまだまだ漂っている。銀行の貸し渋り、貸し剥がしも続いており、新しく投資する意欲は全く出てこない。
		観光型旅館（団体役員）	・イラク情勢など、内外共に先行き不透明である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・特に目立ったイベントもなく、順調だった先行予約も一段落している。逆に昨年6月はサッカーワールドカップにより国内旅行が激減した為、今年は例年並みの来客を期待している。
		都市型ホテル（副総支配人）	・宿泊、宴会予約状況は改善していないため厳しさがあるが、レストランはリニューアル店舗が完成するため期待はできる。
		タクシー運転手	・実車率は依然として回復の兆しが無い。客の話にも景気好転を予感させるような明るいものがない。
		通信会社（経営者）	・悪材料は一巡しているものの、さらなる販売拡大につながる要因は見当たらない。
		ゴルフ場（経営者）	・やや来客数の減少が止まりつつある。安い所へ流れていた客が、高価格な所へと流れ始めてきた。今後もこの傾向が続くと予想される。
		競輪場（職員）	・1人当たりの購買単価が上昇するのは難しいため、今の厳しい状況が続く。
		競輪場（職員）	・イラク情勢、デフレ問題など先行き不透明感が拭えず、明るい兆しが見当たらない。
		その他レジャー施設 [イベントホール] (職員)	・先の予約状況は、長期公演があるため前年に比べて良くなっている。ただ、他は未決定のものもあるため手放しでは喜べない。
		その他レジャー施設 (企画担当)	・イラク情勢がレジャー消費に水をさす反面、国内レジャーは関東の大型テーマパークなど、アメリカ型集客施設以外にはチャンスがある。景気が良くなるということではないが、業績的には期待ができる。
		その他サービス[クリーニング](経営者)	・春のシーズンの立上がりが遅くなった分、ある程度後半に需要がシフトするとは考えられるが、それも5月の連休明けくらいまでの短期型で終わりそうな流れである。
		やや悪くなる	
商店街（代表者）	・政治的不安定、イラク情勢、統一選挙の影響で消費が低迷すると予想される。		
商店街（代表者）	・日曜日に休む店が増えており、今後さらに賑わいがなくなる恐れがある。		
一般小売店[貴金属製品](経営者)	・ユーロ高が続いているため、ブランド商品の値上げが予想される。		
百貨店(売場主任)	・イラク情勢の問題解決の長期化により購買力の低下が進み、引き続き厳しい状況が続く。		
百貨店(売場主任)	・今のところイラク情勢の影響はまだ出ていないが、企業破綻、失業者の増加など経済環境の悪化は深刻であり、先行きの見通しは厳しい。		
スーパー（経営者）	・週末になると安い外食で済ませ、一から料理を作ってみなで食べることをしなくなっていることから、今後の見通しは厳しい。		
スーパー（店長）	・イラク情勢など暗い話題が多く、明るい材料がない。ただ戦争で景気が向上した例もあるので、一概に悪材料とは言いがたいが、いずれにしても不安材料がまだまだ多い。		
コンビニ（経営者）	・不況感、イラク情勢など様々な報道による先行き不透明な情報が購買意欲を削いでいる。 ・コンビニエンスストアの使い方が、購入する場所から、留まる、休憩する場所が変わってきている。特に工事関係者、営業関係者が駐車場に長時間滞在し、客の回転が悪くなってきており、先行きに期待はできない。		
コンビニ（経営者）	・本来、3、4月あたりから客単価は上昇し、来客数も増加するが、今年に関しては特に客単価が上昇してこないことから、先行きが懸念される。		
コンビニ（店長）	・イラク情勢により先行き不透明である。政治不信、経済不安、政治家のモラルの低下でプラス要素が全くない。		
コンビニ（店長）	・イラク情勢の影響が出てくると危惧している。		
衣料品専門店（経営者）	・今月の販売量から考えると、行楽シーズンに入っても売上の増加を望むのは無理である。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（総務担当）	・イラク情勢の行方がわからないため景気が不安定になっており、先行きの見通しは厳しい。
		家電量販店（経営者）	・イラク情勢の問題解決が長引けば、客の不安感をあおるので景気は悪くなる。
		乗用車販売店（経営者）	・イラク情勢の影響で中古車の買替えが厳しくなっており、その結果国内での中古車の価格が下落している。イラク情勢の問題解決が長引けば、景気がなお悪くなっていくと予想される。
		乗用車販売店（経営者）	・4月は減給やリストラする企業が多くなることが予想される。新聞などでは景気低迷がさらに深刻化すると報じており、イラク情勢の問題解決も長期化しそうなので、今後も景気回復につながる良い要素はない。
		乗用車販売店（営業担当）	・株価の下落、イラク情勢、ガソリンの高騰など不安定要素ばかりであるため、先行きに期待できない。
		自動車備品販売店（従業員）	・来客数はそれほど減少していないものの客単価は少しずつ下落しており、この傾向は1月以来続いている。消費者の所得水準が回復しない限り、相当厳しい状況が続く。
		一般レストラン（スタッフ）	・イラク情勢の影響によるガソリン等の石油関連製品の値上げを案じて、消費はますます落ち込む。
		観光型旅館（経営者）	・イラク情勢の影響が尾を引き、ガソリンや他商品の価格の上昇が予想される。
		都市型ホテル（経営者）	・良くなる要素が少ない。イラク情勢の問題解決が長期化すると、消費者マインドには悪影響を及ぼすと考えられる。国内旅行が増加する可能性もあるが不透明である。短期的には企業業績や景気は基本的に悪い状態が続くと思われ、先の受注もこじばらくは前年割れが続くと予想される。
		タクシー運転手	・現在ややよくなっているのは一時的なものであり、遠距離割引は他社もいずれ同じ水準に並ぶことから、見通しは良くない。
		タクシー運転手	・雨の日以外は歩くという客の傾向がみられ、タクシーはますます良くない状況になる。
		通信会社（経営者）	・イラク情勢による影響を受けそうである。
		テーマパーク（職員）	・年度末を迎えての株価の低迷等で、企業の決算にはあまり期待できない。そしてこの様子が喧伝され景況感が悪くなってくると予想される。イラク情勢も重要な要素になり、その行方次第では景気は悪化していく。
		ゴルフ場（経営者）	・予約状況が悪い。割引料金を設定した日だけ予約が入るなど、状況は引き続き厳しい。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・新入生の集まりが良くない。月謝の負担を少しでも減らそうとする動きから、1人当たりの授業料は減っているなど、先行きの見通しは厳しい。
		その他サービス〔ビデオ・CDレンタル〕（エリア担当）	・イラク情勢の動向、経済状況とも見通しがつかず、新規出店についても非常に慎重である。
		住宅販売会社（経営者）	・イラク情勢の問題解決が長引きそうな気配の中で、購買意欲が低下する。
		住宅販売会社（従業員）	・景気の低迷により、なぜこの時期に住宅を新築するのか、顧客の購買意欲に沸き立つものが見当たらない。生前贈与の住宅取得特例も住宅購入の強い後押しにはなっておらず、今後の見通しは厳しい。
	悪くなる	一般小売店〔食料品〕（経営者）	・イラク情勢の影響により消費者の財布のひもがますます固くなる。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	・近隣に大型100円ショップが出店したため、対抗し得る商品の仕入れを考えているが、既に売上が減少している。先行きの見通しは暗い。
		衣料品専門店（経営者）	・イラク情勢の影響や、競合相手の増加による先行き不安があるほか、まわりの景気も良くないことから、見通しは厳しい。
		衣料品専門店（経営者）	・イラク情勢の動向によるところが大きい。
		乗用車販売店（経営者）	・イラク情勢の影響が出てくる。
		乗用車販売店（経営者）	・イラク情勢が解決されない限り、当分不安定な時代が続く。株価も不安定であり、先行き不安なことばかりである。
		一般レストラン（スタッフ）	・景気回復につながる材料や話題が見当たらない。小泉政権の支持率が低下しており、これといった改革の実施もない。イラク情勢の影響も懸念される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（店長）	・海外旅行はイラク情勢の動向により出控えが続くと思われる。国内旅行はテーマパーク、北海道方面が伸びると思われるが、海外旅行をカバーするまでには至らず全体的には悪くなると予想される。
		旅行代理店（営業担当）	・イラク情勢、重症急性呼吸器症候群の影響で海外旅行の予約は激減し、国内旅行の先行きも間際申し込みが目立つ。現状では、開花宣言をもってしても、春うららという気分にはほど遠い。
		旅行代理店（営業担当）	・先行き3か月の販売状況は、海外旅行が前年の50%、国内旅行が80%台で推移している。またJR、航空機などの交通機関の利用も減少傾向にある。急激な回復は考えにくく、先行きの見通しはかなり悪いと判断せざるをえない。
		遊園地（経営者）	・テーマパークの閉鎖や遊園地の廃業が報道され、レジャーランド全体のイメージダウンになっており、先行きの見通しは厳しい。
		設計事務所（所長）	・イラク情勢の影響、株価の低迷で景気は良くならない。
企業動向関連	良くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・来客数は減少したが、伸びている企業が数社出てきており順調な売上を保っている。今後他の勝ち組企業との契約を進める予定であるため、先行きに期待できる。
		建設業（経営者）	・受注量が安定して増えてきている。ここ数か月はこの傾向が続く見込みである。
	やや良くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・新規客の開拓が進んで具体的商談が決まりつつあるなど、先行きに期待が持てる。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・約定通りの支払いがなされないケースが出てきており、先行きの良くなる要因が見当たらない。
	変わらない	化学工業（経営者）	・原材料の値上げ要求が強くなってきている。逆に製品は値下げ要求が強く、利益が圧迫されるという状況である。コスト削減にも限度があるが、価格が安定するまで不安定な状況は続く。
		金属製品製造業（経営者）	・金融機関の不良債権処理の進展が不透明な状況で、ゼネコンの再編の動きが見えず、営業面でも明るい話題が少ない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・イラク情勢による不透明感で、さらに気分的に不景気色が濃くなる。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・補修工事、交換工事を中心に引き合いは出てきているが、まだまだ量的に不足しているため、現在の厳しい状況が続く。
		その他製造業〔ゴム製プラスチック製履物〕（団体役員）	・イラク情勢の動向、将来への不安により消費の陰りがみえてきている。
		建設業（社員）	・公示価格の下落率が縮小しているものの、工場等の国外移転や銀行の統廃合、企業の社宅売却により、市場で土地が余っていることから、商業地、住宅地問わず下落が引き続き予測される。その結果として企業基盤の不安定は続くと思われ。その一方で、都心の一等地では下げ止まったところもあり、土地の収益性と価格とのバランスがとれてきたことも伺える。
輸送業（営業担当）		・イラク情勢の影響で燃料費が高騰しており、運輸業界にとっては経営圧迫要因となっている。先行きの見通しは引き続き厳しい。	
不動産業（経営者）		・市内中心部の店舗出店意欲がおう盛であるほか、都心回帰傾向も強く、都心部の居住用賃貸住宅の需要が堅調であるなどの好調な動きがこれからも続く。	
やや悪くなる	化学工業（経営者）	・量販店の売上げが良くなく、新商品の企画があまりないことから、先行きが懸念される。	
	金属製品製造業（経営者）	・製品の値上げが困難である一方、スクラップや古紙等の原料価格が高騰しているなかで、材料の値上がりも製品に転嫁できない状況がこれからも続く。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・イラク情勢の影響により、設備計画の実行が延期される傾向にある。この傾向はすべての分野においてみられることで、ここ2、3か月は設備投資は低調になる。	
	電気機械器具製造業（従業員）	・イラク情勢の影響がいろいろな所で生じると予想される。	
	建設業（経営者）	・イラク情勢の影響により、物価の高騰やテロの危険に伴う景気の更なる低迷が予想され、建設等の大型投資はますます控えられることが予想される。	
	建設業（経営者）	・今後はより厳しい競争になる。イラク情勢の影響で建設資材の高騰も心配である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		金融業（支店長）	・株価、為替、イラク情勢と不安要因が多く、安定した経営基盤を確立することが困難であるという雰囲気蔓延している。	
		金融業（支店長）	・イラク情勢等によって、企業の様子見の状態が続く。その一方で、受注コスト削減で中国への製造の流出が増え、国内の企業が厳しい状態になる。	
		広告代理店（営業担当）	・イラク情勢の影響により、しばらく様子見の状況になる。	
		悪くなる	食料品製造業（経営者）	・イラク情勢の影響で外国との取引に関するチェックが厳しくなっているが、今後コストの高い国内の利用が増えることで利益が出にくくなる。
		食料品製造業（従業員）	・イラク情勢の問題解決が長引けば原料価格の高騰が予想されるが、販売価格にはなかなか転嫁できないことを考えると、先行きには期待できない。	
		繊維工業（経営者）	・不良債権処理問題やイラク情勢の影響で、更に状況は悪化していく。特に原油価格の変動は、消費動向のみならず原料価格にも影響してくる二重苦の様相を帯びてくる。	
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・全く動きが止まって低調である。イラク情勢の影響でさらに悪くなる。	
		建設業（経営者）	・イラク情勢の影響で、客の気分が家を買おうという雰囲気ではない。かなり冷え込んでいる状態であり、先行きには期待できない。	
		コピーサービス業（従業員）	・イラク情勢の問題解決が長期化するとの見方が強まり、株価の下落が予想される。先行き不透明な状況で高額品等の買い控えは否めない。	
雇用 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		人材派遣会社（社員）	・イラク情勢は、解決されないまでも見通しがはっきりすると予想されることから、先行きに期待できる。	
			学校〔大学〕（就職担当）	・大手、中堅企業ともにリストラが一巡し、企業収益が回復基調にある。これまで新規大卒者の採用を抑制してきたため、社員の年齢構成上のバランスが悪くなったことから、採用を再開、増員する企業が増えてきており、先行きに期待できる。
	変わらない		人材派遣会社（社員）	・顧客企業の統合、再編が進み、採用を手控えている。受注があっても少人数のものばかりで大口の受注が見込まれない。
			新聞社〔求人広告〕（担当者）	・イラク情勢など不安要素が多く、求人については様子見が続く。
			職業安定所（職員）	・前年同月に比べて新規求職者数は減少し、新規求人数はやや増加傾向にある。有効求人倍率はかなり改善されているが、求人と求職のミスマッチは広がるばかりで雇用状況が良くなるとは判断できない。
			職業安定所（職員）	・大量の離職は前年度に比べて減少しているが、事業規模縮小、希望退職者の募集、退職勧奨などを行う事業所が多く、引き続き厳しい状況が続く。
			民間職業紹介機関（支社長）	・本来であれば回復基調になるが、イラク情勢や決算の影響が大きく、4～6月は例年より予測しにくい。
	やや悪くなる		人材派遣会社（社員）	・企業におけるリストラが一層推進される感があり、正社員のみならず、派遣社員の減員も予想される。長期雇用契約が減少し、需要の低迷が顕在化しつつある。
			求人情報誌製作会社（編集者）	・イラク情勢の影響による石油価格の高騰、イラク情勢の問題長期化による株価への影響、賃下げを実施する企業の増加による消費の減少、地価の下落による銀行や保険会社の不良資産増加、といった具合に明るい材料が無い。しかし優秀な人材の求人は多く、即戦力、コアになる人を採用したいという企業と求職者のマッチングのなかにビジネスチャンスはあると考えている。
			新聞社〔求人広告〕（担当者）	・イラク情勢など国際情勢の不安定な状態が続く中で、景気も上向きにならない。
			新聞社〔求人広告〕（担当者）	・イラク情勢によって旅行代理店などの求人数が減少し、付随する業種からの求人数の減少が予想される。
			民間職業紹介機関（職員）	・先行きについては、求人業者も労働者も現在の好調は一過性のものと否定的にとらえている。
		学校〔大学〕（就職担当）	・イラク情勢や北朝鮮問題の先行きが不透明で、身のまわりの消費マインドも落ち込んでいる。	
悪くなる		人材派遣会社（社員）	・イラク情勢とデフレ問題が、見通しの厳しい要因である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・担当しているビルメンテナンス、人材派遣業界などにおいては、一段と同業者間の競争が激しくなっており、成績の上がない人は次々リストラされていることから、先行きは厳しい。

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる		
	やや良くなる	住宅販売会社（経理担当）	・新規発売物件の効果により、全体的な契約数が増加する。
	変わらない	商店街（代表者）	・イラク情勢が悪化するため、良くなる希望が持てない。
		商店街（代表者）	・イラク情勢が2～3か月以内に終結すれば変わらないが、長引くと確実に悪くなる。
		百貨店（総務担当）	・先月までは春物を中心に婦人服が伸びたが、今月は一転してマイナスに転じたため、先行きも不透明になっている。 ・イラク情勢の悪化から、売上高、来客数ともに減少気味となっている。混沌とした国際情勢、所得減少の現状では、今後もなかなか消費は回復しない。
		百貨店（営業担当）	・将来に対する生活不安が続いており、消耗品などの生活必需品しか購入されない状態が今後も続く。
		百貨店（売場担当）	・夏物の主力となる商品が見つかっておらず、何を打ち出すのか業界でも悩んでいる。客もメディアに敏感で、イラク情勢の報道内容が緩和されない限り、客の財布のひもは固い。
		スーパー（店長）	・世界の経済情勢、国内の雇用情勢などから、良くなる要素が見当たらない。
		衣料品専門店（店長）	・低価格層の客と中、高価格層の客との購買行動の違いが歴然としている。
		家電量販店（店長）	・商品の売行きは上向いているものの、販売数は急激には増加しておらず、減少することもない。 ・パソコン関係は好調であるが、洗濯機、冷蔵庫関係などは芳しくなく、商品による浮き沈みが激しいため、全体的な景気動向は変わらない。
		家電量販店（予算担当）	・パソコンなどの買い換えの長期化により厳しい。
		乗用車販売店（総務担当）	・受注があるのはコンパクトカーのみで、高級乗用車関係が売れる見込みがない。
		自動車備品販売店（経営者）	・イラク情勢が悪化しているが、それまでも十分に景気が悪いので、これ以上の悪化はない。 ・引き続き消費が活発化しないため、この悪い状態が当面続く。
		高級レストラン（スタッフ）	・夕食帯の来客数の減少、客単価の低下傾向も続いており、今後もそのような状況が続く。
		観光型ホテル（経理総務担当）	・国内観光では多少来客数が増加することもあるが、予約状況からは、イラク情勢の影響であまり上向きにはならない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・来客数はある程度あるが、客単価が低下している状態が続いて、当分上昇しそうにない。
		旅行代理店（団体営業担当）	・イラク情勢の悪化が長期化する懸念があるため、変わらない。
		通信会社（企画担当）	・イラク情勢の悪化から、先行きは非常に不透明だが、当社の扱う商材については春以降、多少動きが上向きになる。
		通信会社（総務担当）	・現行サービスへの加入状況が好調であり、この傾向は当面続く。
		通信会社（営業担当）	・キャンペーン合戦のため客単価は低下しているが、客は更に低い価格を要望しており、新サービスへの乗り換えには様子見の状態が続く。
テーマパーク（広報担当）	・イラク情勢の悪化で国内旅行の増加が予想される反面、マイナス要素も多いため、大きな伸びは期待できない。 ・選挙の影響が懸念され、その時期には団体旅行が減少する。		
テーマパーク（業務担当）	・イラク情勢による変化の要因はあるが、あまり変わらない。		
ゴルフ場（従業員）	・ゴルフが生活に密着していないレジャー産業であることから、後回しにされる。 ・料金が最低水準まで落ちていることから、総売上はさほど変わらない。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		レジャー施設（営業企画担当）	・宴会の受注件数が、例年を上回る状況も出始めているが、温泉ホテル、日帰り温泉などは、動員数を割り込んでおり、まだまだ厳しさを乗り越えたとは言いがたい。
		住宅販売会社（従業員）	・客の要望や契約状況から、現在の状況が続く。
	やや悪くなる	一般小売店〔茶〕（経営者）	・イラク情勢もあるが、色々な理由をつけて金を使わない状態がますます強くなっていく。
		一般小売店〔100円商品〕（店員）	・イラク情勢が悪化して以降、食品値上がりの噂もあるため、財布のひもも固くなり、あまり物が動かなくなる。
		百貨店（売場担当）	・客も取引先も百貨店もリスク回避に重きを置く異常な状態が続いており、単価も低下している。
		百貨店（売場担当）	・取引先もベーシックな商財を中心に偏っており、欠品も大変多い。
		百貨店（売場担当）	・イラク情勢の影響が、世間が不景気なためか、入社や入学などで子女が物いりなため他の購入を控えているためか判断できないが、当店の客層である40歳から50歳代をターゲットととしている、今まで好調だった高級衣料の売行きが、3月中旬くらいから急に悪化している。
		スーパー（店員）	・イラク情勢の悪化は長引きそうで、石油、ガソリンも値上がりしているため、紙不足や商品価格の高騰というような動きが出てきそうである。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・悪くなる要素はあるが、良くなる要素はない。
		家電量販店（店長）	・イラク情勢の悪化から、物価に対する不安が大きくなっており、更なる購買意欲の低下が懸念される。
		乗用車販売店（経営者）	・来店客も少なく、販売単価も低い。エアコンの出足も遅くなっている。
		乗用車販売店（統括）	・イラク情勢や政治などの安定化があれば状況は変わるが、3月の最大の需要期に、相当量を確保するために、若干の無理やキャンペーンも行い、4月以降の先食いがあったため、その反動が4月、5月あたりに出てくる。
		住関連専門店（広告企画担当）	・イラク情勢の悪化から石油価格の高騰が始まると、ますます大型車、高級車は売れなくなる。またユーザーは一度の体験で車は小さくても問題はないと思うようになり、高級車に戻らなくなる。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・イラク情勢の影響で、ユーザーが買い替え周期を大幅に延長することが懸念される。
		一般レストラン（店長）	・集客費用が変わらないため、客単価が上昇しない限り、利益が出ず、良い方向には向かない。
		都市型ホテル（従業員）	・客は買物をするより、現金を手元に置いて置いて様子見をする方が良いと感じている。
		旅行代理店（経営者）	・新入社員の歓迎会の予約が、例年ほど入っておらず、また例年ならば年度始めに入る接待などの予約が非常に少ない。
		設計事務所（経営者）	・現在の商品の販売推移から、低価格商品を選ぶ傾向が更に進行する。
		設計事務所（職員）	・イラク情勢の安定までにどれくらいかかるかが売上に大きく影響する。
		パチンコ店（企画担当）	・東南アジアにおける重症急性呼吸器症候群の流行も原因が分からず、このままの状況では先行き不透明である。
		設計事務所（職員）	・イラク情勢に伴う日本の戦費負担により、税金の個人負担が増加し、その影響がレジャー産業に及ぶ可能性もあるため、好転の兆しがみえない。
	悪くなる	商店街（代表者）	・イラク情勢の悪化により、今後の経済状況は低迷する傾向にある。大型の公共投資がある程度あるにしても、小さい公共投資などを踏まえての経済の流れが滞りつつあり、全体的な投資の傾向が消極化している。
		一般レストラン（営業担当）	・健康保険自己負担率の増加、発泡酒税率アップ等の個人負担が大きくなる一方で、イラク情勢の悪化による原油価格の上昇などの社会経済不安が増加し、個人住宅の新築、改造が控えられる。
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・イラク情勢が安定することにより、欧州向けの受注も回復する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	変わらない	農林水産業（従業者）	・例年の魚場でも期待する水揚げができない。水温や潮の関係など様々な条件が重なり、漁獲の先行き予測もままならない。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・鉄鋼業の生産状況の好調さが継続することから、生産量も一定の水準が維持できる。ただ、イラク情勢次第で生産が左右される懸念がある。
		鉄鋼業（広報担当）	・アジアを中心に引き続き高い需要があり、引き続きフル操業が続く。
		建設業（営業担当）	・今まで止まっていた土地の売買が少しずつ動き出しているが、良くなるにはもう少し時間がかかる。
		通信業（社員）	・イラク情勢の悪化もあり、公共事業も上向きにならないこと、ブロードバンドの全国的な構築も下火になっていることなどから、今の景気は変わらない。
		金融業（業界情報担当）	・得意先において新型車の生産開始により、操業は一段と高まると期待できるが、コストは厳しさを増す一方であり、収益改善は限定的なものにとどまる。イラク情勢の不安定が長引けば、輸出急ブレーキにつながる懸念がある。
		広告代理店（営業担当）	・自治体合併のメリットが見えず、広告にも反映してこない。逆に告知広告などが減少する恐れがある。 ・民間が堅調に推移すれば、状況は変わらない水準で推移する。
		コピーサービス業（管理担当）	・従来の主力商品は依然として15%近い下降傾向にあり、いまだ新商品によるカバーができていない。 ・営業部門、生産部門も新体制への切替えを行う計画をしているが、時間を要する。
	やや悪くなる	食料品製造業（総務担当）	・OEM商品の受注発注量の不安定から、会社自体の経営が難しくなる。 ・自社ブランドを立ち上げようとしているが、なかなか先行きがみえない。
		繊維工業（統括担当）	・イラク情勢の悪化などから、まだまだ良くならず悪くなる。
		木材木製品製造業（経理担当）	・個人消費が伸びないうえ、イラク情勢の影響もあり、売上が下がってくる。
		化学工業（総務担当）	・イラク情勢の悪化が長期化すると、原油価格の上昇に伴い、製造原価が上昇することから、利益は増加しない。
		化学工業（総務担当）	・原料価格が減少傾向にあるものの、今後のイラク情勢の悪化が長期化すれば、再び上昇に転じることが予想され、収益的に更に厳しくなる。
		鉄鋼業（総務担当）	・営業の受注活動情報や3月の受注量、4月以降の受注予定などから、半導体関連材料は上向きになり始めていたのに、現在は動きがみえなくなっている。 ・堅調だった自動車関連材料の動きが鈍くなることが予想されており、急に不安感が増してきている。
		電気機械器具製造業（広報担当）	・イラク情勢の悪化により、アメリカの景気回復が遅れることが危惧される。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・在庫が余り気味で、この半年の間は例年より受注が落ち込んできている。
	悪くなる	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	・デフレ状況が改善されず、4月から公共料金も値上げされるうえ、イラク情勢の悪化など、悪い影響しかない。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・年度末で人材派遣契約を終了するケースが大変多い反面、新規求人も活発になっている。顧客企業は人材派遣を厳しい判断のもとに限定的に活用する姿勢を強めている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・イラク情勢の影響もあるが、市況が良くなり雇用拡大につながるものがない。中国地方においては従来と変わらず、悪くも良くもならない状況で推移していく。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・3月の求人広告実績は、久しぶりに例年レベルに達し、明るさが出てき始めているものの、大幅なV字回復は見込めそうにない。
		職業安定所（職員）	・年度始めを迎えて、大量離職が発生する情報も寄せられており、新規求職は引き続き高水準で推移すると見込まれる。
職業安定所（職員）	・求人数は増加傾向にあるが、求職者数は変わらない。		
職業安定所（職員）	・新規求職申込み件数が比較的增加している。特に男性の増加が目立っており、採用別に見ると無業者が大きく増加しているが、全体的には変わらない。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる	人材派遣会社（支社長） 職業安定所（職員） 民間職業紹介機関（職員）	・イラク情勢の悪化で今後の情勢がみえず、雇用情勢もやや悪くなる。 ・建設業のほか、一部製造業にも人員整理の動きがみられる。 ・業務遂行能力で中程度からやや上程度の人が応募できる正社員の求人が少ない。
	悪くなる	新聞社職員〔求人広告〕（広告営業担当）	・好材料が全くない状況のうえ、イラク情勢の悪化で国際経済の悪化が顕著になり、石油、資源の価格高騰など消費に悪影響が及ぶことから、雇用状況も悪くなる。

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	百貨店（売場主任） スーパー（店長） 家電量販店（営業担当）	・大手百貨店の閉店により来客数が増加している。 ・近隣の自社の他店舗が業態変更をしたため、来客数、単価ともに増加している。 ・セールスに耳を傾けていただけの客が多くなり、購入意欲が強まる兆しが見られる。
	変わらない	一般小売店〔乾物〕（店員）	・イラク情勢が早期終結すれば、株価値上がり、円安の方向に進み、また日銀新総裁の政策の効果が出れば、少しは景気は良くなると思う。しかし、情勢が長期化すれば全く逆の状態になり、現状での判断は難しい。
		百貨店（営業担当）	・来客数は1月に、売上は当月に前年を回復した。しかし、単価の減少傾向は変わっていない。客の購入動向も数か月間同じ傾向で、ブランドにより好不調がはっきり出しており、客の選別指向がさらに強まっている。
		コンビニ（店長）	・卒業、転勤などの客の入れ替えで多少期待しているが、売上は、この一年間前年並みで推移している。
		衣料品専門店（経営者）	・イラク情勢、県知事選の結果次第で景気は変わってくると思う。
		乗用車販売店（従業員）	・イラク情勢が長期化すると、経済的に支障が出てくる。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・発泡酒の増税で、3月は駆け込み需要があったが、前倒しの購入にすぎず、先行きは横ばいである。
		一般レストラン（経営者）	・単価、来客数の減少が、固定化、日常化しており、急速な変化はない。
		観光型旅館（経営者）	・イラク情勢が長期化すれば、景気はしばらく良くなりなれないと思う。
		ゴルフ場（従業員）	・3か月後の予約状況を過去のデータと比べると変化がない。
	やや悪くなる	設計事務所（所長）	・イラク情勢の影響により先行き不透明である。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・3月末は送別会用に花束がたくさん出たことから、退職者、離職者の数が過去に例がないほど多いと感じた。このことから、消費はさらに冷え込むのではないかと考える。
		一般小売店〔菓子〕（販売担当）	・来客数は、前年を大きく割り込んでおり、回復の兆しが一方向に見えない。
		百貨店（総務担当）	・イラク情勢の長期化への懸念や社会保険料の値上げ、たばこ、発泡酒の増税などにより、心理的に客の消費意欲がますます冷え込んでいる。
		スーパー（財務担当）	・イラク情勢の影響は今のところ見られないが、今後、どんな影響が出てくるか心配である。
		スーパー（店長）	・競合店の改装オープンセールで客がそちらに流れていることと、安い物を買って回る客の消費動向から価格競争が強まっている。
		衣料品専門店（経営者）	・一年で一番売れる時期である3月の売上が、対前年比で3割から4割減少していることから判断すると、今後も期待はできない。
		家電量販店（店長）	・新商品の売上は良いが、既存商品の単価は下落しており、販売量が増加する要素がない。
乗用車販売店（従業員）		・新型車やモデルチェンジ車の効果も次第と薄れ、今後は厳しくなると感じている。	
都市型ホテル（経営者）	・予約状況を昨年と比べると極端に悪化している。単価も低下している。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる	旅行代理店（従業員）	・イラク情勢による国際テロなどの不安があり、海外旅行の予約は低調、国内旅行も不景気感が強く、あまり期待できない。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン減税を見込んだ客への販売が一段落した。
		その他住宅〔不動産〕（経営者）	・1月以降低調に推移し、今後もしばらく、買い需要が増加するとは思えない。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・新製品、プライベートブランド商品は、比較的よく売れているが、料理店、スナックなど業務向けが非常に深刻な状況である。
		スーパー（店長）	・医療費値上げ、イラク情勢など悪い条件があり、買い控えなどで景気は悪くなると思う。
		衣料品専門店〔婦人服〕（経営者）	・来客数が減少している。
		通信会社（企画担当）	・株価の低迷に加え、イラク情勢で今後の見通しは非常に悪い。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	食料品製造業（従業員）	・変わらないというよりも分からないというのが現実である。新商品を出しても2か月後、3か月後の商品の動きが見えない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・新商品で売上が増加しても、既存商品が減少する状況が繰り返されており、全体としては、なかなか上向きにならない。
		化学工業（営業担当）	・イラク情勢が長期化すれば、原油価格の高騰により経済成長はマイナスになると予測する。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・東京都の排ガス規制によるトラック需要が活発なことから、小型クレーンの出荷台数は増加している。しかし、これは一時的な要因で、民間設備投資を軸とした本格的な回復に結びつくものではない。
		建設業（経営者）	・3か月先の受注見通しが立たない。
		通信業（支店長）	・個人客の購買意欲は低いままであり、企業も経費を切りつめる会社が多く、今後も変化がないと感じる。
		金融業（融資担当）	・建設業を中心に受注量、受注単価とも回復の兆しがない。また、売掛先の倒産により、資産の不良化も懸念される。
		不動産業（経営者）	・協力業者の業績が、良いところと悪いところに二極化している。
		広告代理店（経営者）	・大口得意先である携帯電話会社が、合理化により4月から広告出稿窓口を県外に集約する。したがって、広告予算が削減される見込みであり、依然として厳しい状況が続く。
		公認会計士	・集金状況が非常に悪くなっており、各取引先の資金繰りが悪化していることがうかがえる。この状況が急速に良くなるとは考えにくい。
	やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・イラク情勢の長期化で円高が懸念され、当社のようにアメリカへの輸出が多い企業は、非常に厳しい状況になる。
		輸送業（支店長）	・イラク情勢の長期化が予想され、原油価格の高騰や軽油の値上げを価格に容易に転嫁できない。
輸送業（配車担当）		・イラク情勢の長期化、輸出の低迷などが解決しない限り、景気は上向かないと思う。	
悪くなる	家具製造業（経営者）	・全体的にパイが小さくなっているのに加え、戸建住宅の建築が極端に落ち込んでいる。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・即戦力の中途採用プランを投入するため、求人の掲載数が増える。
	変わらない	職業安定所（職員）	・新規求職者数に減少傾向がみられる。また、管内の地元優良企業において、雇用調整計画をしている事業所が出てきている。
		学校〔大学〕（就職担当）	・雇用条件の悪化が伝えられる中、新規求職は非常に慎重になり、それが採用者数の減少につながっている。求人数が伸びない中、求職者数は横ばいであり、今後もこの傾向は変わらない。
やや悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・今まで派遣社員を利用してきた企業もパートや契約社員に切り替えるところが増えてきた。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・パートを含む有効求人倍率は0.56倍と、2か月連続で対前月比0.01ポイントのマイナスとなった。また、有効求職者は5カ月連続で対前年同月比マイナスとなっているが、これは雇用保険受給者の減少が要因である。一方、一般求職者数の増加と求人数の減少に歯止めがかからないことから、雇用環境はなお悪化する。
	悪くなる	-	-

10. 九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	百貨店（営業担当）	・地域の市場環境の変化がほぼ一巡し、今までの基調に比べゆるやかな上昇傾向がみられる。
	やや良くなる	スーパー（企画担当）	・既存店舗の改装や営業時間延長による集客効果が出る。
		コンビニ（店長）	・来客数や単価の動きは少し良くなっており、九州新幹線の工事関係者の利用も期待できる。
		乗用車販売店（従業員）	・新車販売台数が増えつつある。
		高級レストラン（経営者）	・4月は選挙があって厳しいが、3か月先は客が動き出す。
		観光型ホテル（スタッフ）	・宴会部門の予約状況は予算・前年比ともに予想を上回るペースで受注しているが、宿泊は先が見えない。
		テーマパーク（職員）	・4月のTVドラマロケに伴うイベントやコンサートによる集客増と、アミューズメント施設のGW期間中の営業による集客増が期待できる。
		住宅販売会社（従業員）	・ローン減税の期限を考えると、そろそろ検討を始めないといけないので動きが出てくる。
	住宅販売会社（従業員）	・資金贈与とローン控除によって、住宅に関しては年内に決めようという動きが出てくる。ただ景気そのものは良くなっていない分、客は時間をかけて検討している。	
	変わらない	商店街（代表者）	・これ以上悪くなる様子もないが、イラク情勢が今後の消費マインドに影響する。
		商店街（代表者）	・卒業、入学、就職等でかなりの出費がかさみ、それを穴埋めするために食費が削られ、消費が落ち込む。また、イラク情勢の影響で株価の下落やガソリンの値上がりが起こっており、ますます厳しくなる。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・うなぎのシーズンを迎えるが、産地表示の問題もあって消費が多少落ちる。
		一般小売店〔食料雑貨〕（店員）	・既存のお得意様であった飲食店が相次いで閉店しており、赤字経営も限界にきている感がある。消費者の外食にける予算が一段と厳しくなっている。
		百貨店（営業担当）	・当店より車で5～10分位のところに売場面積4万㎡の郊外店がオープンしたが、思ったほど影響を受けていない。
		百貨店（営業担当）	・春物の立ち上がりは値頃感のある商品を中心に動きがあるものの、今後の社会情勢によっては先行きは不透明である。
		百貨店（売場担当）	・イラク情勢の深刻化によって消費マインドが上向かず、よくて現状維持である。
スーパー（経営者）		・イラク情勢の長期化による石油等の値上がりによる経費アップに加え、消費の低迷が今後も続く。	
スーパー（店長）		・競合店の出店があり、単価の下落や買い物の選別が進み、非常に厳しい。ただ全体的な消費マインドは横ばいと考えられる。	
スーパー（店長）		・3月は春物の処分期に入るが、例年ならセールで買っていく客が今年は極めて少なくなった。購買意欲が減退しており、この悪さは少々のことでは立ち直らない。	
スーパー（店長）	・イラク情勢が緊迫化して、トイレットペーパー等の動きは良いが、全体的に消費が冷え込んでいる。		
スーパー（総務担当）	・食料品は昨年並みの売上が見込まれるが、衣料品、住居用品は客単価が上がらず、低価格商品がほとんどを占めるようになっている。		
コンビニ（エリア担当）	・あらゆる施策の不調に加え、競合激化でさらに客が減っている。また、低単価商品へのシフトが進んでいる。		
衣料品専門店（経営者）	・国際情勢の影響で製造業などに影響が出てくれば、消費者の購買意欲にも影響が出てくる。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店(店員)	・高額な輸入品は好調になってきたが、これ以上良くならない。国産の商品は、安いものでいいという価値観の客が増えているので、厳しい状況はしばらく続く。
		家電量販店(経営者)	・現状だと訪問販売で売上を勝ち取るしかないが、2~3か月先にそれ以上売上が伸びる要素が見当たらない。
		家電量販店(店員)	・パソコン販売は新規は見込めずまったく改善の見通しが立たない。2年くらい前のパソコンでも十分使えるということで買い替え需要につながらない。
		家電量販店(総務担当)	・イラク情勢の影響が懸念され、良くなる要因が見当たらない。
		乗用車販売店(経理担当)	・新型車の投入が依然としてない状況では市場も盛り上がり欠ける。
		その他小売[雑貨卸](総務担当)	・3か月先になるとイラク情勢の影響が出てくるだろうが、それでも変わらない。
		高級レストラン(スタッフ)	・イラク情勢や株安などを見る限り、変わらないというよりもわからない。
		一般レストラン(スタッフ)	・100円ショップとか100円均一の回転寿司といった安い店に客が集中していて、客の絶対量が減っている。
		旅行代理店(従業員)	・5月の連休の予約が前年に比べ悪く、非常に厳しい。
		旅行代理店(従業員)	・イラク情勢の動向によって多少変わるだろうが、まだまだ厳しい状態が続く。
		タクシー運転手	・旅館、ホテルの客の様子を見ると若い人が多い。卒業旅行と思うが、今までは海外に行くパターンが多かったが国内に回っている。イラク情勢によって国内旅行が増え、景気は下向きでも観光が穴埋めして横ばいである。
		タクシー運転手	・寒い地方でもゴルフができるようになり、客が減る。
		タクシー会社(営業担当)	・イラク情勢が影響すると考えられるため見通しがきかない。
		パチンコ店(店員)	・他県からの進出が増えており、営業努力だけでは厳しい状況になっている。
		競輪場(職員)	・イラク情勢がどの程度影響するかにもよるが、日本経済の回復がない限り、公営競技の販売量は変わらない。
		美容室(経営者)	・衣替えから客の気持ちも高揚してくると思うが、大きなインパクトのあるイベントでもない限り売上は伸びない。
		住宅販売会社(従業員)	・雇用問題とかイラク情勢が影響してあまり変わらない。
	やや悪くなる	商店街(代表者)	・自転車で10分くらいのところに巨大ショッピングセンターができたので、中心街の人通りが少なくなる。
		商店街(代表者)	・イラク情勢の影響で米国経済が悪化し、日本の景気もそれに引きずられて悪くなる。
		商店街(代表者)	・雇用不安、税や医療費の負担増により、企業、消費者ともに財布のひもが固くなる。
		一般小売店[青果](店長)	・良くなる要素が見つからない上に、医療費負担などの社会保障問題や失業率の悪化も懸念され、消費は伸び悩む。
		百貨店(営業担当)	・売上を引っ張ってきた婦人服がモデルをしたが芳しくない。加えて紳士服は依然伸び悩んでいる。デイリーの食品も好材料が見当たらず下降気味である。
		百貨店(売場担当)	・購買客数、数量が若干ダウンの傾向にあり、3月は下旬くらいから消費が急激に落ち込んでいる。イラク情勢や地元テーマパークの破たんが影響していると考えられる。
		百貨店(業務担当)	・世界情勢の不安定、株価の低迷、失業率の高止まりに回復の兆しがなく、その状況を打破できるヒット商品やトレンドの波もない。
		スーパー(店長)	・最大のマイナス材料はイラク情勢である。
		スーパー(店長)	・医療費などの負担増によって、客の消費に対する姿勢がますます厳しくなる。
		スーパー(店員)	・イラク情勢が緊迫し、石油製品等の値上がりや社会情勢が不安定になり、購買意欲が失せる。
		スーパー(総務担当)	・選挙のときは購買力がやや落ちるという過去の実績がある。それに加え、今後イラク情勢がどうなるか非常に心配な面もあり、消費は先行き不透明である。
		スーパー(企画担当)	・景気が上向かない中、石油製品をはじめとして値上がり傾向があり、客の買い控えが強まり、客単価、客数ともにますます厳しい状況になる。
		スーパー(経理担当)	・デフレ傾向と競合店対策で客単価がさらに落ちる。人口の多い都市圏では同業他社も出店攻勢をどんどんかけてくるため余計に厳しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（経営者）	・イラク情勢が直接影響しているわけではないが、心理的にマイナスで、消費行動に盛り上がりを感じられない。
		コンビニ（エリア担当）	・イラク情勢の緊迫化でガソリンが高騰するなど、今後の状況が見えないことから客の財布のひもは緩まない。国内の景気回復策が具体的に見えない限り、厳しい状況は今後も続く。
		家電量販店（企画担当）	・イラク情勢の影響もあって先行きが不透明で悪くなる。
		乗用車販売店（従業員）	・決算月の反動で、4、5月は目標台数も少なく赤字に逆戻りする懸念がある。
		乗用車販売店（管理担当）	・イラク情勢の影響でガソリンが値上がりし、客の需要を掘り起こす上でマイナスである。
		住関連専門店（経営者）	・イラク情勢の緊張が長期化すれば厳しくなる。また、4月には統一地方選挙があり、選挙の月はなかなか売上が伸びない。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・過当競争が続いており良くなる気配がない。どんなに安定経営してきても、利益計上できる体質があっても、取引先が民事再生法を適用すればこちらもやられてしまうため、先行きは暗い。
		高級レストラン（経営者）	・日によって売上にばらつきがあり、平均して採算ラインに達する日がほとんどない。忙しい時と暇な時との差が大きすぎてトータルでは前年割れが続く。
		高級レストラン（専務）	・イラク情勢の影響でどんどん悪くなるが、旅行者の需要は少し良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・これから選挙が控えており、グループの動きが若干弱くなる。カフェでも団体の客が減ってくる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・イラク情勢次第だが、当分は予断を許さない状況である。
		都市型ホテル（副支配人）	・イラク情勢の緊迫が長期化する様子を呈しており、ホテル業界は見通しが暗い。
		旅行代理店（業務担当）	・イラク情勢など漠然とした不安感から旅行に対する支出が後回しにされる。
		通信会社（企画担当）	・大手の競合他社が、企業体力にものを言わせた値下げや無料キャンペーンによる攻勢を強めている。
		通信会社（業務担当）	・現在の最需要期の反動で、携帯電話の販売も新規契約だけでなく機種変更も落ち込む。カメラ付携帯電話の人気も一段落し、新機能を搭載した商品の発売も予定されているが、さらなる需要の掘り起こしにはつながらない。
		通信会社（管理担当）	・入社、入学のシーズンで景気回復が期待できる時期だが、イラク情勢の影響に加え、補正予算がどうなるかはっきりしないためあまり期待できない。
		ゴルフ場（従業員）	・営業努力をしても客が増える見込みがない。
		ゴルフ場（支配人）	・イラク情勢や公共事業削減等の政策の動きを考えると少し悪くなる。
		設計事務所（職員）	・なかなか契約までたどり着けない。
	悪くなる	商店街（代表者）	・イラク情勢の影響で海外旅行を含めて旅行者の数が減る。なかでもトラベル用品が停滞する。
		商店街（代表者）	・イラク情勢の緊張が長期化することが考えられ、将来不安や経済政策への不安から消費マインドはますます冷え込む。
		百貨店（売場主任）	・客単価の低下傾向はまだ強くなる。今後は医療費負担増などが控えており、消費マインドが冷え込む。
		百貨店（営業担当）	・イラク情勢の緊張が長期化する恐れから米国経済の動きが落ち込み、それに伴って日本経済も厳しくなる。個人では、可処分所得を消費に充てる割合も大きく落ちる。
		百貨店（販売促進担当）	・株価の低迷やイラク情勢の緊迫が長期化する恐れから客の動向が読めない。
		スーパー（店長）	・イラク情勢の影響で石油製品の値段が上がるので、消費者の財布のひもが今以上にきつくなり、買い控えが強まる。
		衣料品専門店（店長）	・選挙があると田舎は人の動きが活発になるので、来街者も増える。しかし、イラク情勢に関しては既にガソリンが値を上げるなど、まだまだ悪くなる。
		衣料品専門店（店長）	・イラク情勢等の社会不安で、買物どころではないという気持ちで消費者に起こる。自分自身も買物の数が減っている。
		衣料品専門店（総務担当）	・イラク情勢の緊迫化で東南アジアからの旅行者が減り、テーマパークがさらに落ち込みそうである。その影響で街全体が暗くなり、消費マインドに悪影響を及ぼす懸念がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スナック（経営者）	・ 昨年の6月に客が激減してから10か月間、預金や保険の解約、商工会議所からの借り入れで努力をしてきたが、このまま続けても回復が見込めないため6月末を持って閉店することになった。24年間頑張ってきたが、こんなことでやめることになるとは悔しい限りである。
企業 動向 関連	良くなる		
	やや良くなる	建設業（総務担当）	・ 昨年悪かった反動で、新規案件が増えてきた。見積り案件が多くなり、受注のチャンスが増えてきた。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・ 観光に依存している納入先が大部分であるため、観光動向に業績が左右されやすい。そのためイラク情勢が国内旅行にどの程度影響を及ぼすかがポイントになるが、予測が困難な上に南九州の観光は依然低迷しており、今後も観光客を動員できる要素は見当たらない。
		金属製品製造業（企画担当）	・ 資材調達価格の値上げ圧力を受けている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・ 半導体や液晶関連の金型部品は全体的に動きが出てきたと同時に、納期の面でも多少余裕が出ており、少し良くなる。
		広告代理店（従業員）	・ 新聞折込チラシの受注量は低調なまま推移している。折込件数の増減を判断の基準にしているが、取引先からは件数を増やす話が出てこない。
		広告代理店（従業員）	・ 依然厳しい状況が続いているが、良い企画物であればクライアントは関心を示している。
		その他サービス業〔物リース〕（従業員）	・ イラク情勢の早期決着が図られても、すぐに景気が回復するとは思えない。
	やや悪くなる	食料品製造業（専務）	・ イラク情勢の不安や統一地方選挙といった理由から人や物の動きが控えめになる。
		家具製造業（従業員）	・ イラク情勢も緊張の度合いを高めているし、東京の大型物件が終わって新しい物件情報が少ない。九州では大型物件の話もなく、良くなる要因がない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・ 最大の需要期である3月の悪い状態からしてもっと悪くなる。小売店も量販店も焼き物は売れていないと言っている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・ イラク情勢の影響で石油が高騰し、金融機関等も株価下落によって厳しくなる。イラク情勢の緊張が長期化すれば米国経済が悪化し、日本も引きずられて悪くなる。
		鉄鋼業（総務担当）	・ イラク情勢の緊迫に加え、株価の下落も大きい。
		一般機械器具製造業（経営者）	・ イラク情勢の動向が気がかりである。石油価格の高騰で、自動車関連も厳しくなる。そうすれば生産の海外シフトが加速したり、値引き要請が厳しくなる。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・ 客からの要請はコスト・品質・納期全てにおいて厳しくなっている。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・ 海外生産されたものに押されて、3月はどうか稼働する仕事があったが、将来的には非常に少なくなる。
輸送業（従業員）		・ 新規の客が入るとか既存の取扱量が増えるという話はなく、値下げや取扱量を減らすという話が多い。	
輸送業（総務担当）		・ 輸出が少し減っており、イラク情勢の緊迫が長引くと出荷量は減ったままになる。	
通信業（経理担当）		・ イラク情勢の決着にかかっているが、緊張が長引きそうなので悪くなる。	
悪くなる	不動産業（従業員）	・ オフィスビルの賃料下落傾向が新築ビルにまで広がっている。	
	経営コンサルタント	・ 年々悪くなっており、今後急激に回復することはない。イラク情勢の早期解決が図られ、気分的に明るさが出れば若干持ち直す可能性はある。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる		
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・ 短期的には派遣依頼が増えて好転しているように見えるが、長期的には不安定要素が多く、回復基調とはいえない。
		人材派遣会社（社員）	・ 新入社員の採用の枠も少なく、雇用の拡大になる要因が見当たらない。派遣料金の支払い条件等の改定、請求の改定を申し出ても、雇用の安定を優先させるために賃金据え置き、賃下げのムードが感じられる。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・ イラク情勢が消費にどう影響するか各社とも見通せない状況にある。そのため、5月は博多どんたくを中心に毎年、臨時雇用が増えるが、現在の情勢であれば臨時の雇用も慎重になると懸念される。
職業安定所（職員）		・ 新規求人倍率が3か月連続で下降傾向にある。また新規求職者数も4か月連続で増加しており歯止めがかからない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		民間職業紹介機関（職員） 民間職業紹介機関（支店長）	・求人を受けてはいるが一時的なものである。企業としては即戦力は欲しいがリスクのある採用は控えようとしている。 ・企業側の採用姿勢は、ますます厳しくなる。一方同業他社との競争が一層熾烈になっている。 ・価格の下げ圧力が根強い一方、派遣社員への給与・教育訓練費用は増加傾向であり、採算性改善の見込みが立たない。
	悪くなる	新聞社〔求人広告〕	・悪くなるというよりもわからない。失業率や有効求人倍率は改善の兆しがあるが、イラク情勢次第で落ち込むことも考えられる。

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	住宅販売会社（従業員）	・減税制度を充てに年内に住宅を造りたいとする動きがさらに増え、今年前半、とくに7月、8月ごろまでの客の動きは良いと予想される。 ・8月、9月以降については今はなかなか見えにくいところもあるが、他社からも良いとの話が聞かれることから、2、3か月後の景気は良くなる。
	変わらない	一般小売店〔菓子〕（企画担当）	・去った米国テロ時の教訓もあり、今回のイラク情勢に関しては前回より大きく影響はしないが、観光客は増加しても客単価は下落するという状況は続く。
		一般小売店〔鞆・袋物〕（経営者）	・イラク情勢が短期間で終結すれば良いのだが、長期化すれば景気も左右される。特に基地を抱えている街は、米国人の来客数の減少により景気も影響を受ける。 ・ショッピングセンター内にも大型店が出展してきており、パイの奪い合いなどから景気の改善は期待できず、現状のまま推移する。
		百貨店（担当者）	・消費需要は概ね順調に増加のままで推移する。 ・消費者の心理としては、消費意欲、タイミング等のすべてが合致しないと購入にいたらない傾向が強い。
		スーパー（経営者）	・来客数については前年をやや上回っており、客単価についても持ちなおしてきてはいるものの依然としてかなり低い状況が続いている。 ・イラク情勢による入域観光客数への影響など、今後の見通しがまだ不透明であることから、現状は変わらない。
		スーパー（企画担当）	・競合店との競争の激化により、客数の奪い合いは、しばらく続く。 ・来客数が大幅に増加する要因は今のところ見つからないというのが現状で、しばらくはこの状態が続く。
		衣料品専門店（経営者）	・例年に比べ買い控えの様相が多々感じられる。今のところ良い材料が見当たらない。
		家電量販店（副店長）	・競合店が全体的に安売りに走っており、今後も受注単価の低下傾向が続き、リピート客が減少する。
	やや悪くなる	コンビニ（エリア担当）	・増えない所得に加え、4月1日から改定される医療保険料の個人負担率増加は、目的買いの多いコンビニエンスストアでは、低水準化している客単価を更に低くすると懸念される。 ・必要なものしか購入しないという傾向があり、食品・菓子の新商品の販売数の動きが昨年比べて鈍くなっている。
コンビニ（エリア担当）		・イラク情勢の影響で、既に修学旅行のキャンセルが出始めており、観光客の動向を考えるとやや不安である。	
乗用車販売店（総務担当）		・イラク情勢の影響により、景気は悪化する。	
その他飲食〔居酒屋〕（経営者）		・毎日流れる戦争の悲惨な映像をみていると、どんちゃんさわぎをする雰囲気にはならない。戦争の早期終結を祈るばかりである。 ・限定ではあるが、料理一品50円という居酒屋ができてきた。	
観光型ホテル（副支配人） 旅行代理店（経営者） 観光名所（職員）		・イラク情勢や北朝鮮の不安材料による影響が少しずつ出てきている。 ・イラク情勢の影響から、海外旅行中心とした出控え現象があり、また、修学旅行等の一部取り消しが出てきつつある。 ・イラク情勢に関連して予約の取り消しが発生している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる	ゴルフ場（経営者）	・テロによる沖縄への恐怖感が残ることにより、観光客の減少が続き、景気はやや悪くなる。
		商店街（代表者）	・商店街の中心部も空き店舗が増加しつつあり、次の店舗がなかなか入らない。 ・観光客は商店街に多いものの、あまり購入しない。地元の客は外周部の大型店に移行しているため、商店街の小売店の売上は減少する。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・イラク情勢が長引くと、基地を抱える沖縄への観光客は減少する。 ・一昨年の米国テロの影響がなくなった矢先の今回の出来事の、今後の影響が懸念される。
		都市型ホテル（スタッフ）	・イラク情勢の影響で、既に宿泊のキャンセルが出始めており、早期終結の見込みがなければ今後もキャンセルが増加する。 ・地元の飲食等も伸びておらず、今後はかなりの落ち込みが予想される。
		都市型ホテル（マーケティング担当）	・米国テロの際は、エージェントなどによるテロ支援策に加えて、旅行シーズンが重なったこともあり、思っていた以上に回復が早く感じられたが、イラク情勢の影響は4、5、6月の県内旅行シーズンのオフ期と重なる可能性が大きいことから、回復は長引くものと予想される。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	建設業（経営者）	・現在の引き合い件数が、2、3か月先の受注量に結びつくのだが、引き合い件数は減少している。
		通信業（営業担当）	・イラク情勢により米軍基地への出入りが制限され、現在進行中の案件の延期等が予想される。
	やや悪くなる	不動産業（支店長）	・イラク情勢で沖縄の景気が悪くなる兆しがみられる。
		輸送業（営業担当）	・イラク情勢の影響により、団体客の荷物輸送依頼にキャンセルが出るなど悪くなる。
悪くなる	通信業（従業員）	・在沖米軍の市場を考慮すると、長期化が懸念されるイラク情勢の影響が気になる。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・3か月後については、引き続き新たな需要があるのか不透明である。今より悪くはならないだろうが、良くなる見込みもない。
		人材派遣会社（営業担当）	・例年ならば3月は大幅に求人求職数の増加があるのだが今年には微増にとどまっている。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（経営者）	・イラク情勢の影響は避けられず、観光産業なども含めた色々な分野で影響が出る。戦争がどう終結していくのか、また新たな展開があるのか、それによっても影響が出てくる。経済問題だけでなく、戦争を終わらせないといけない。
		職業安定所（職員）	・好条件を求め、雇用保険受給者が滞留し、長期化している。 ・雇用保険の適用事業所の廃止件数が前年比で増加している。
悪くなる	学校〔専門学校〕（就職担当）	・イラク情勢の余波を受け、原油価格の上昇が懸念されており、県内でもガソリン小売価格は徐々に上昇している。そのため、買い控え等が発生し、今後、経済環境は厳しさを増す。	
	求人情報誌製作会社（総務担当）	・イラク情勢の影響で、全般的に悪くなる。	